

緑のまちづくりに関する 市民アンケート調査結果

2019年12月

目 次

1	アンケート調査の概要	1
2	アンケート集計結果	2
2-1	個人属性	2
2-2	知立市の現在の「緑」について	7
2-3	公園・緑地などの利用について	14
2-4	農地について	30
2-5	緑のまちづくりへの参加について	32
2-6	知立市の緑の方針について	43

1. アンケート調査の概要

(1) 目的

「知立市緑の基本計画」の改定にあたり、公園や緑地の利用状況や、今後の緑のまちづくりに対する市民の考え把握することを目的としました。

(2) 調査対象

市民 2,000 人（無作為抽出）

(3) 調査方法

郵送配布、郵送回収

(4) 調査時期

平成 30 年 8 月～9 月

(5) 配布数・回収数

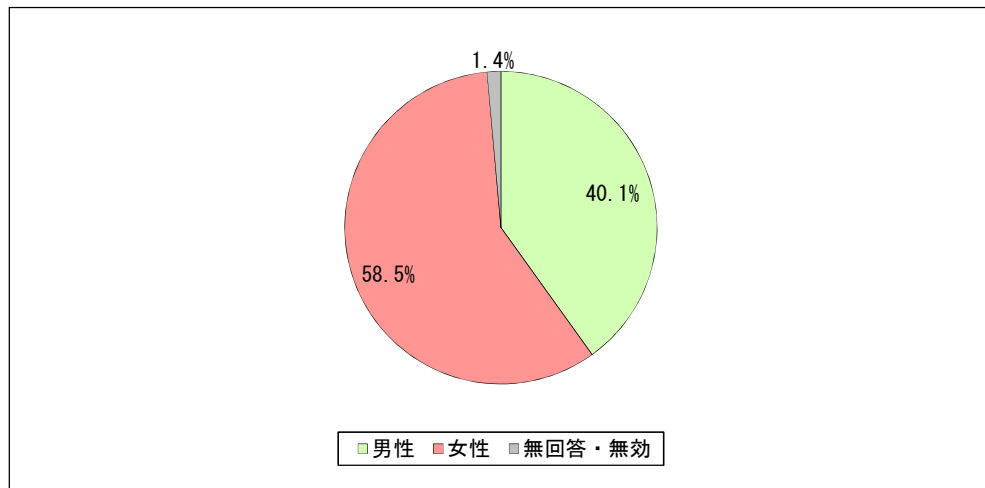
配布数	回収数	回収率
2,000	841	42.1%

2. アンケート集計結果

2-1 個人属性

(1) 性別

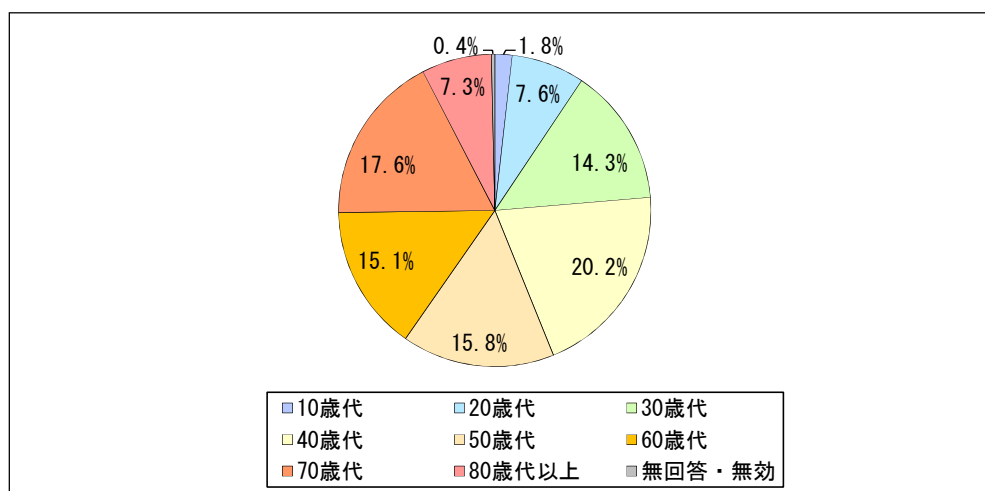
男性が40.1%、女性が58.5%です。



■ 性別

(2) 年齢

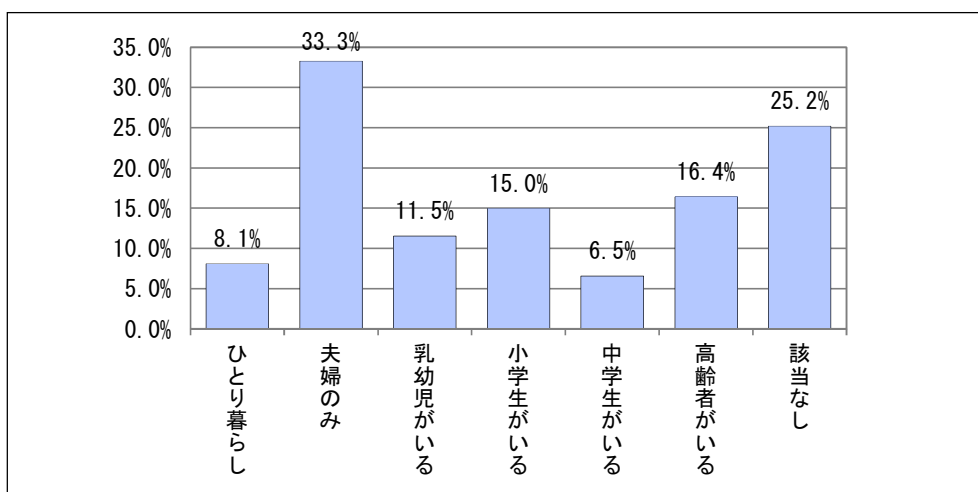
40歳代が20.2%で最も高く、次いで70歳代が17.6%、50歳代が15.8%となっています。



■ 年齢

(3) 家族構成

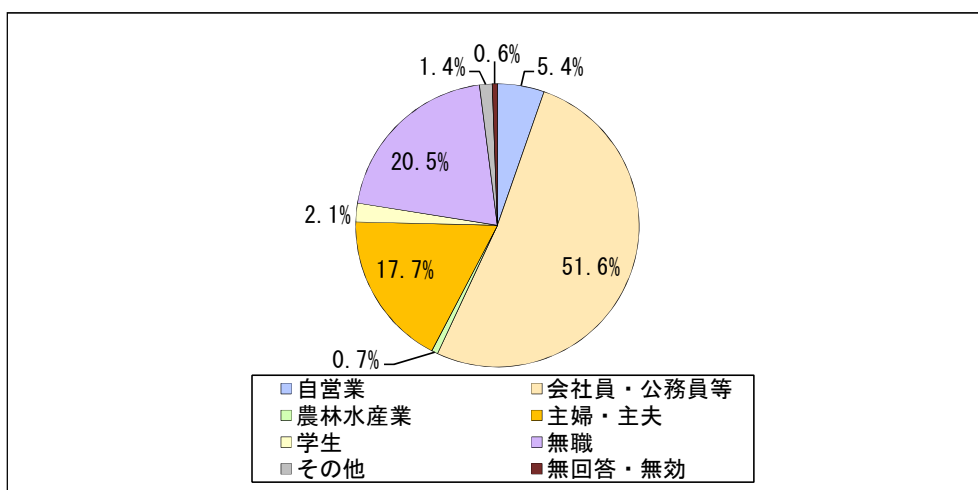
「夫婦のみ」が33.3%で最も高く、次いで「該当なし」が25.2%、「高齢者がいる」が16.4%となっています。



■ 家族構成

(4) 職業

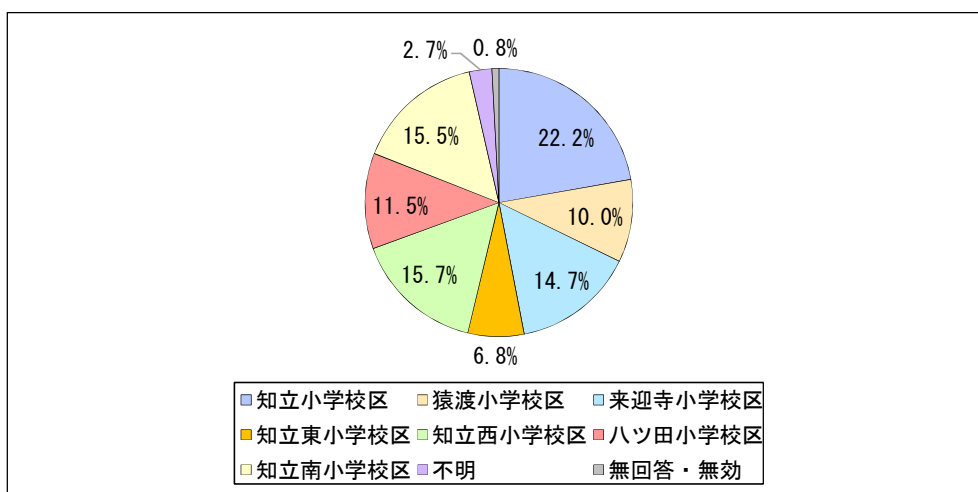
「会社員・公務員等」が51.6%で最も高く、次いで「無職」が20.5%、「主婦・主夫」が17.7%となっています。



■ 職業

(5) 住んでいる「小学校区」

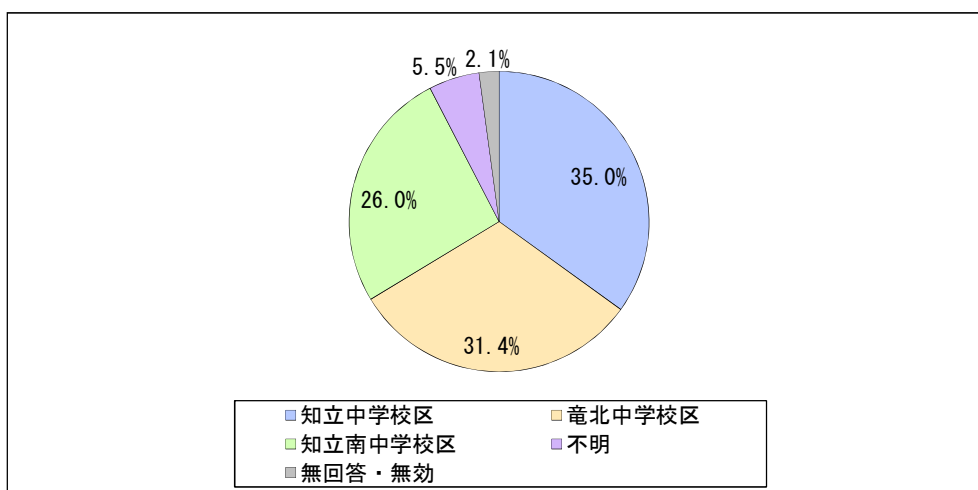
知立小学校区が 22.2%で最も高く、次いで知立西小学校区が 15.7%、知立南小学校区が 15.5%となっています。



■ 小学校区

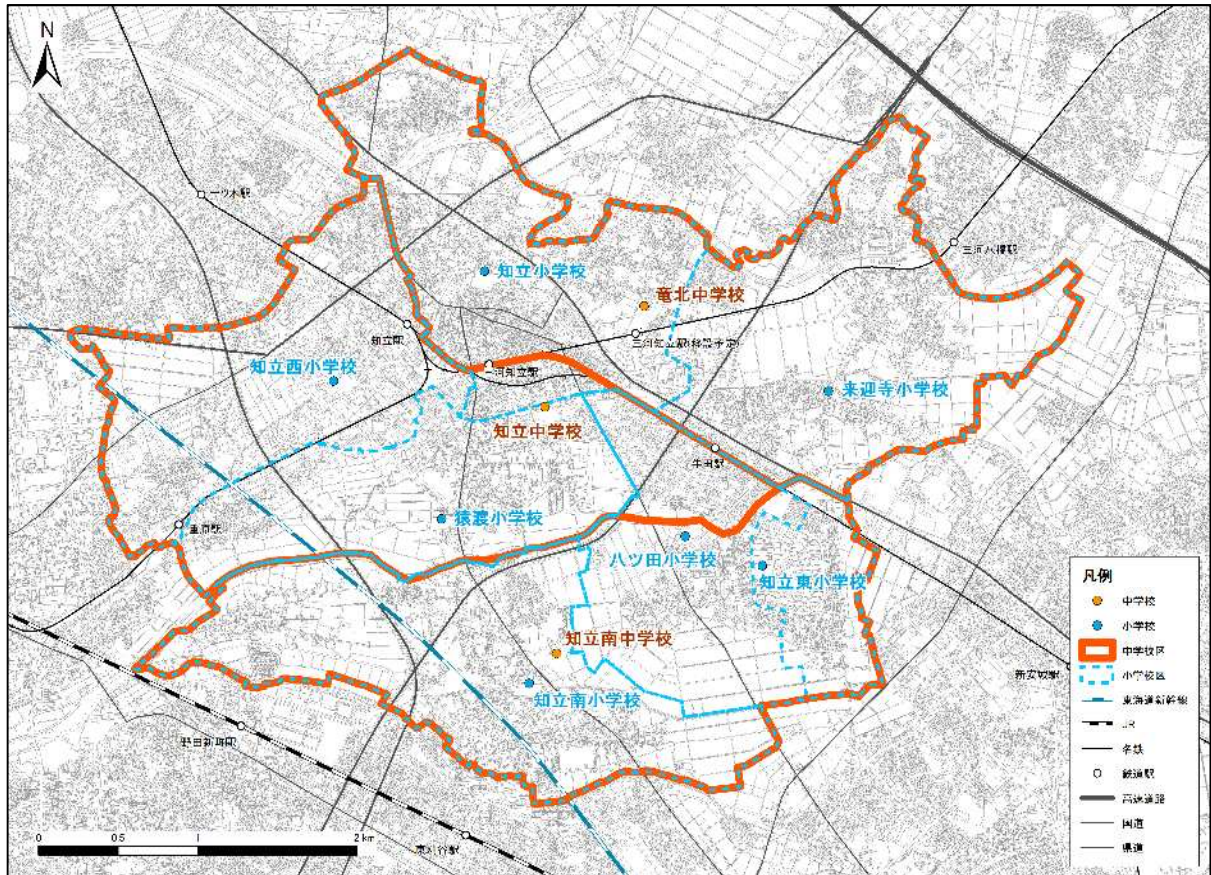
(6) 住んでいる「中学校区」

知立中学校区が 35.0%で最も高く、次いで竜北中学校区が 31.4%、知立南中学校区が 26.0%となっています。



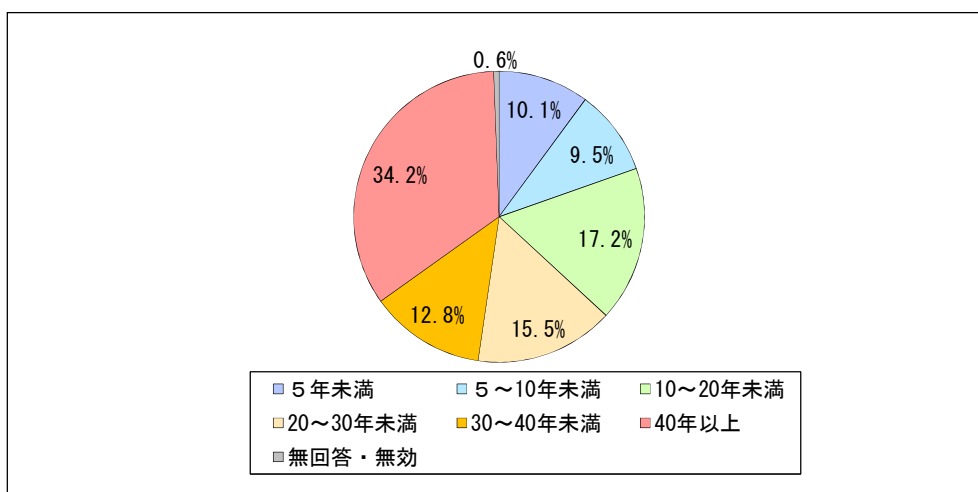
■ 中学校区

参考：小学校区と中学校区



(7) 知立市での「居住年数」

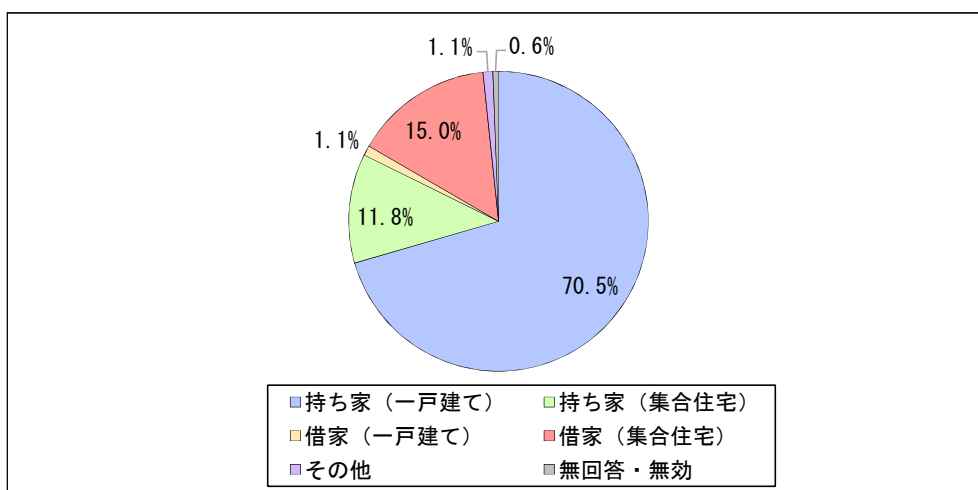
「40年以上」が34.2%で最も高く、次いで「10～20年未満」が17.2%、「20～30年未満」が15.5%となっています。



■ 居住年数

(8) 住んでいる「住宅の種類」

「持ち家（一戸建て）」が70.5%で最も高く、次いで「借家（集合住宅）」が15.0%、「持ち家（集合住宅）」が11.8%となっています。



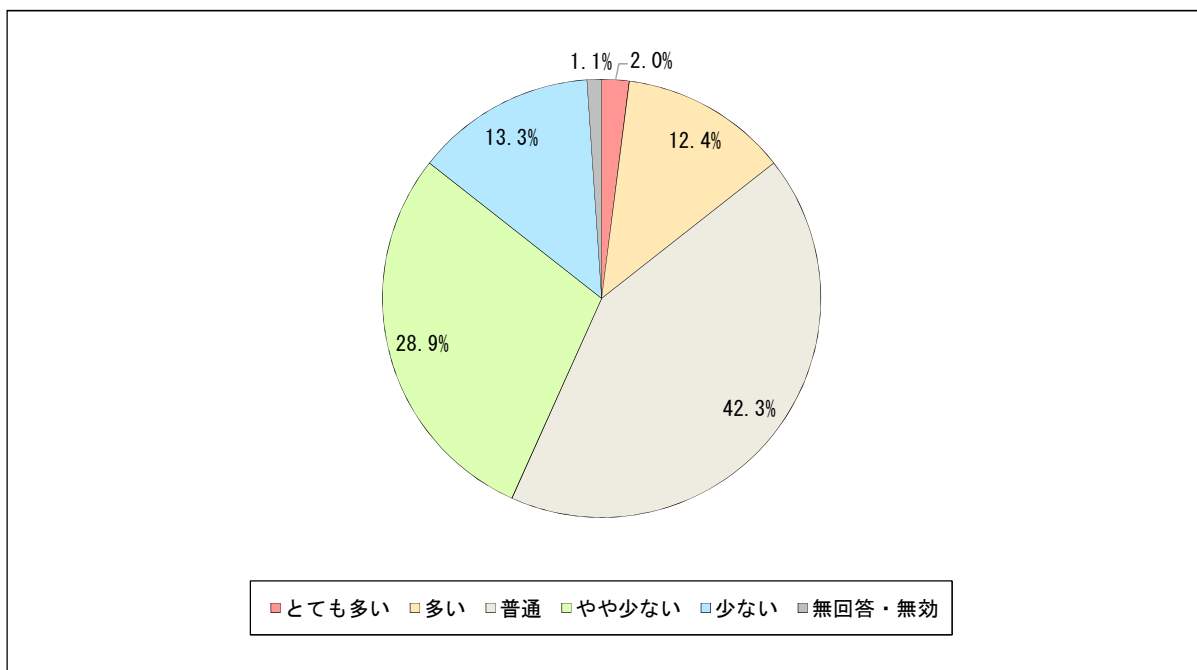
■ 住宅の種類

2-2 知立市の現在の「緑」について

(1) 知立市の緑について

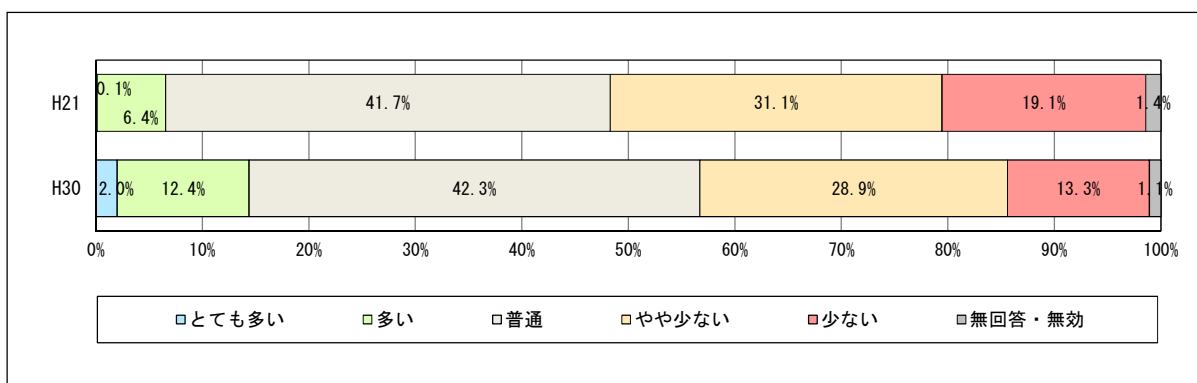
設問2：知立市の緑についてどのように感じますか。次の中から1つを選んで番号に○を付けてください。

緑の量が「やや少ない」または「少ない」と回答した人は42.2%と多く、「とても多い」または「多い」と回答した人は14.4%に留まっています。



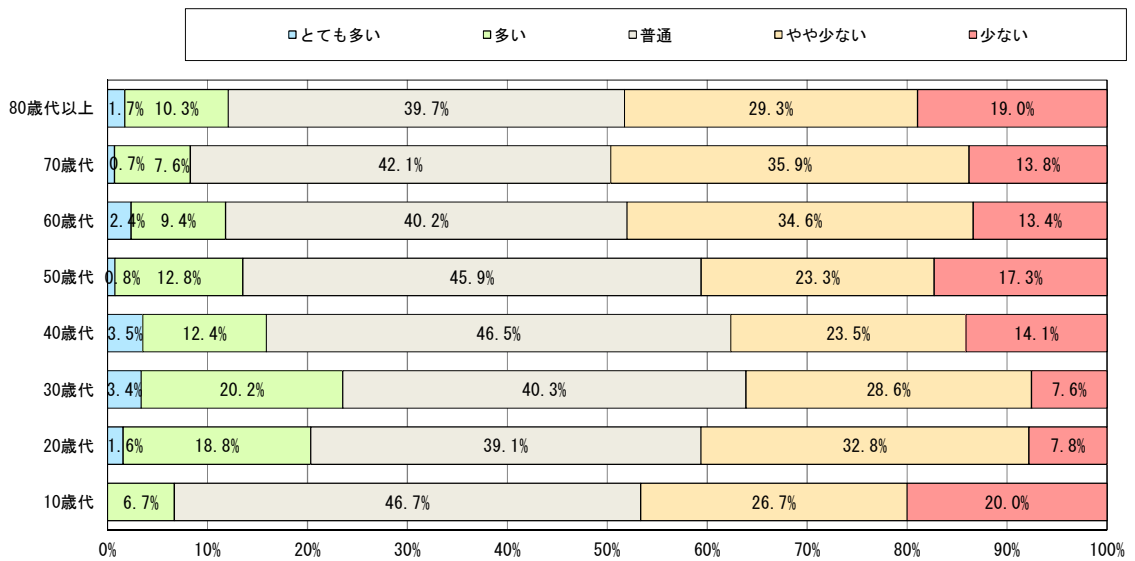
■知立市の緑について

「とても多い」と「多い」の割合を過年度と比較すると、7.9ポイント増加しています。

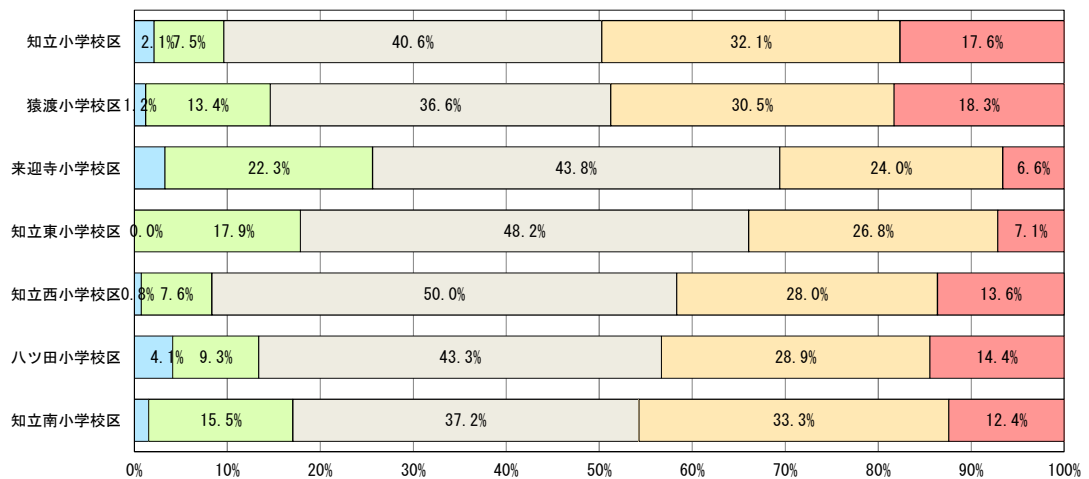


■知立市の緑について（過年度比較）

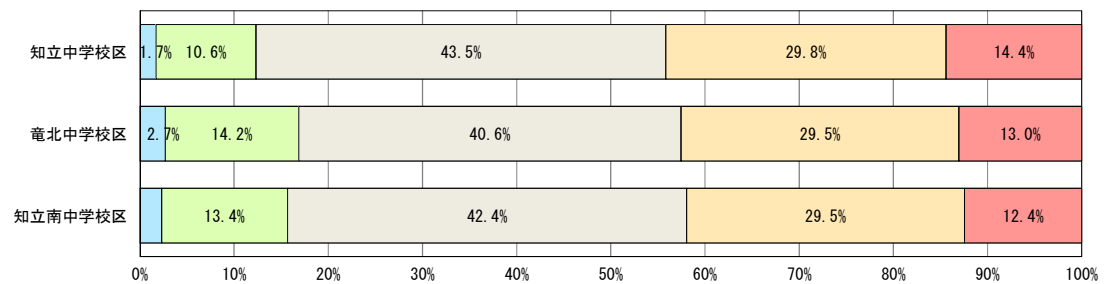
年齢別にみると、高齢者は「とても多い」「多い」が少なくなっています。
 小学校区別にみると、「知立西小学校」では緑が多いと感じている人が少なくなっています。



■ 知立市の緑について（年齢別）



■ 知立市の緑について（小学校区別）



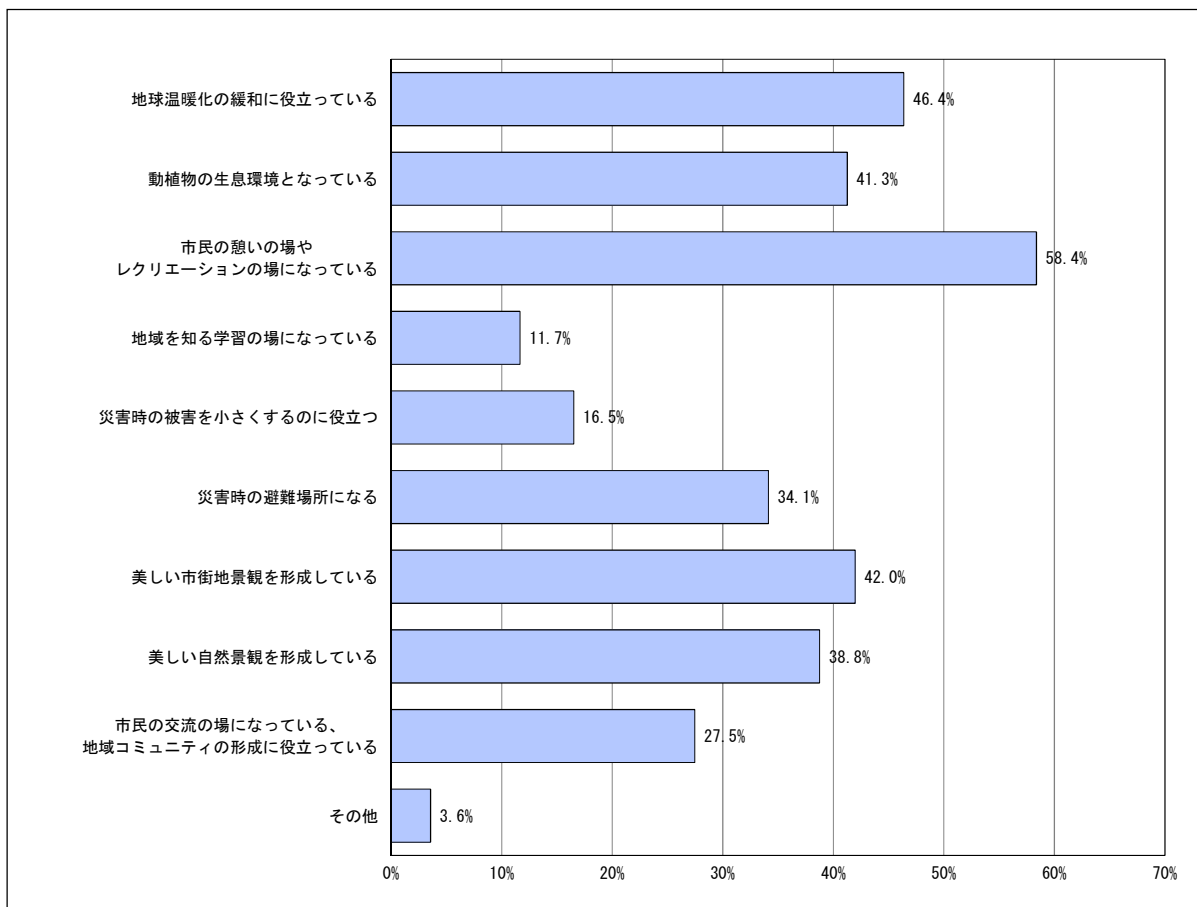
■ 知立市の緑について（中学校区別）

(2) 身近な緑の目的、役割

設問3：公園をはじめとした身近な緑の目的、役割について、どのようにお考えですか。次の中から当てはまる番号全てに○を付けてください。

「市民の憩いの場やレクリエーションの場になっている」が58.4%で最も高く、次いで「地球温暖化の緩和に役立っている」が46.4%、「美しい市街地景観を形成している」が42.0%となっています。

「地域を知る学習の場になっている」は11.7%、「災害時の被害を小さくするのに役立つ」は16.5%に留まっています。



■ 身近な緑の目的、役割

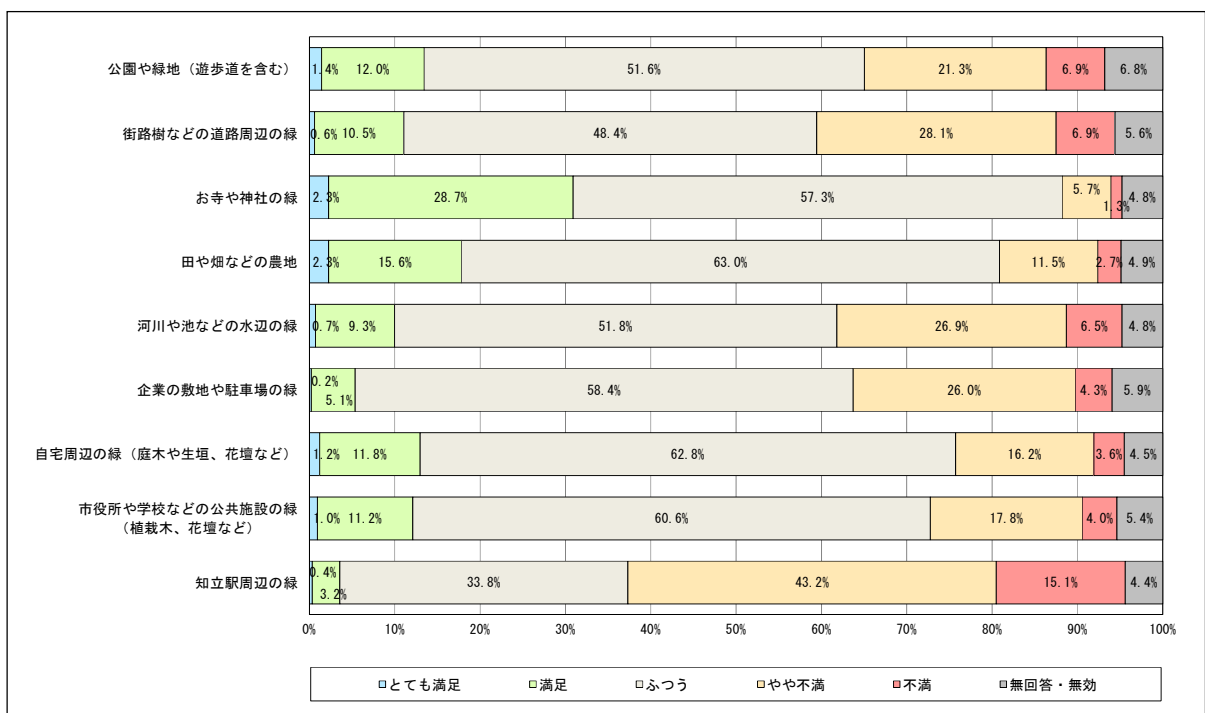
(3) 身近な緑に対する満足度・重要度

設問4：身近な緑の空間に対して、どの程度『満足』していますか。また、今後「守りたい緑、必要な緑、増やしたい緑」としてどの程度『重要』だと思いますか。

以下の(1)～(9)の各項目に対する『満足度』と『重要度』について、それぞれ当てはまる番号を1つ選んで○を付けてください。

「とても満足」と「満足」の割合をみると、「お寺や神社の緑」が31.0%で最も高く、次いで「田や畑などの農地」が17.9%となっています。

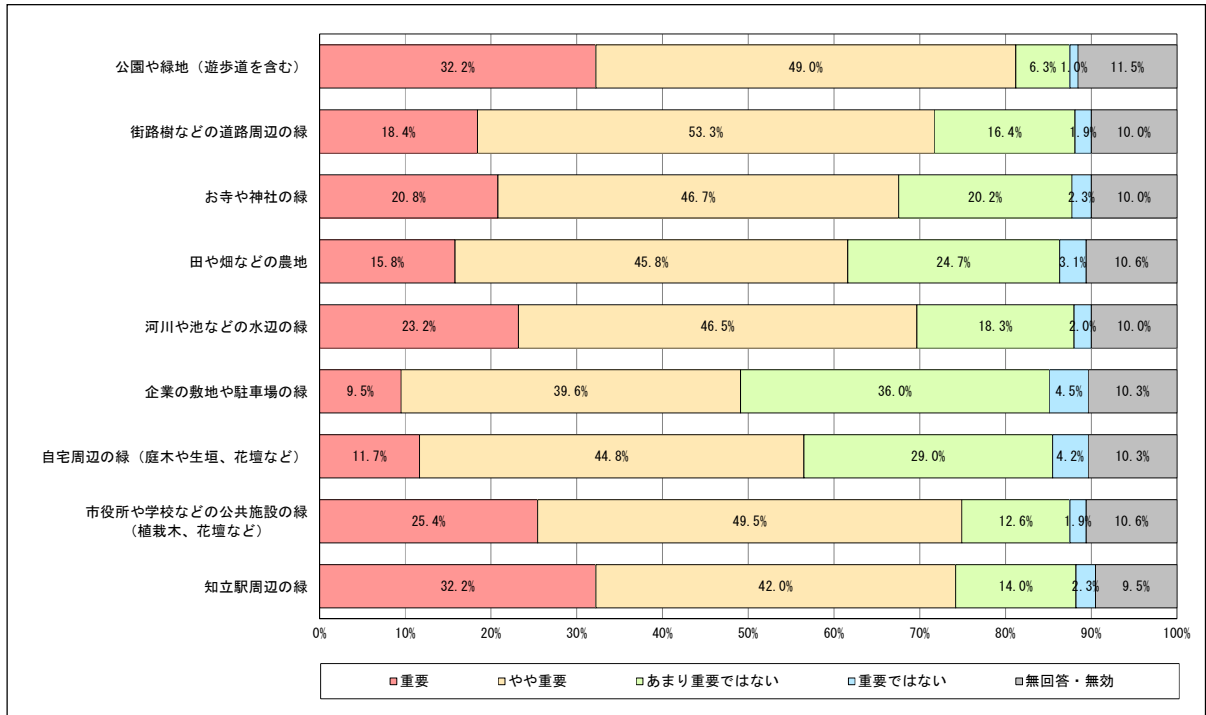
一方、「知立駅周辺の緑」の満足度が他と比較し低くなっています。



■身近な緑に対する満足度

重要度については、全ての項目で「やや重要」が最も高くなっています。

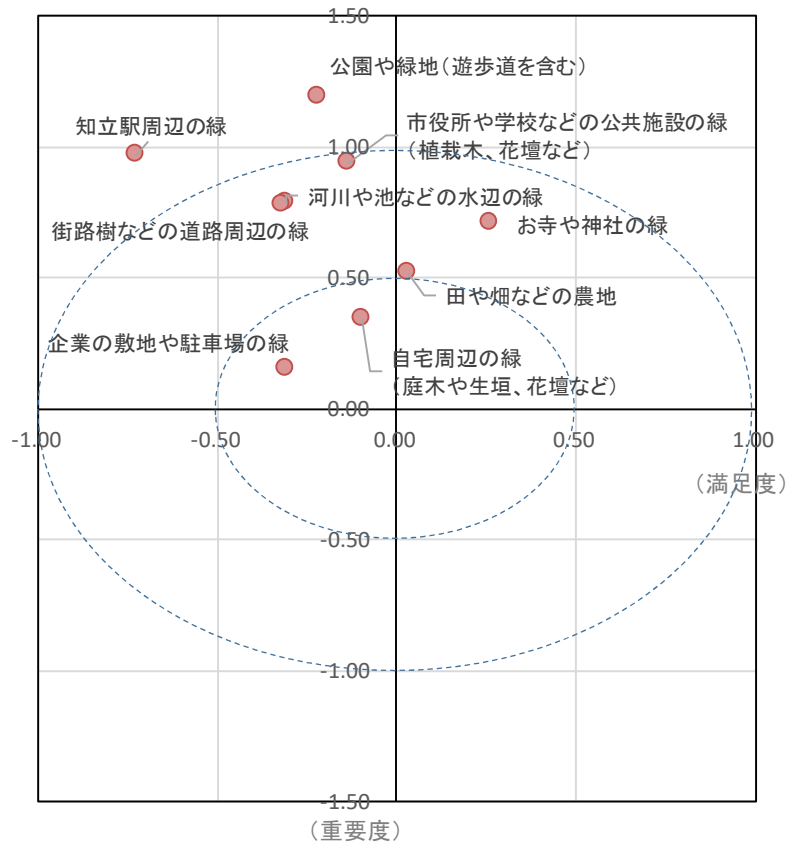
「重要」と「やや重要」の割合をみると、「公園や緑地（遊歩道を含む）」が81.2%で最も高く、次いで「市役所や学校などの公共施設の緑（植栽木、花壇など）」が74.9%、「知立駅周辺の緑」が74.2%となっています。



■身近な緑に対する重要度

全ての項目の重要度が高くなっています。

「公園や緑地（遊歩道を含む）」や、「知立駅周辺の緑」は、重要度が高い一方で、満足度が低くなっています。



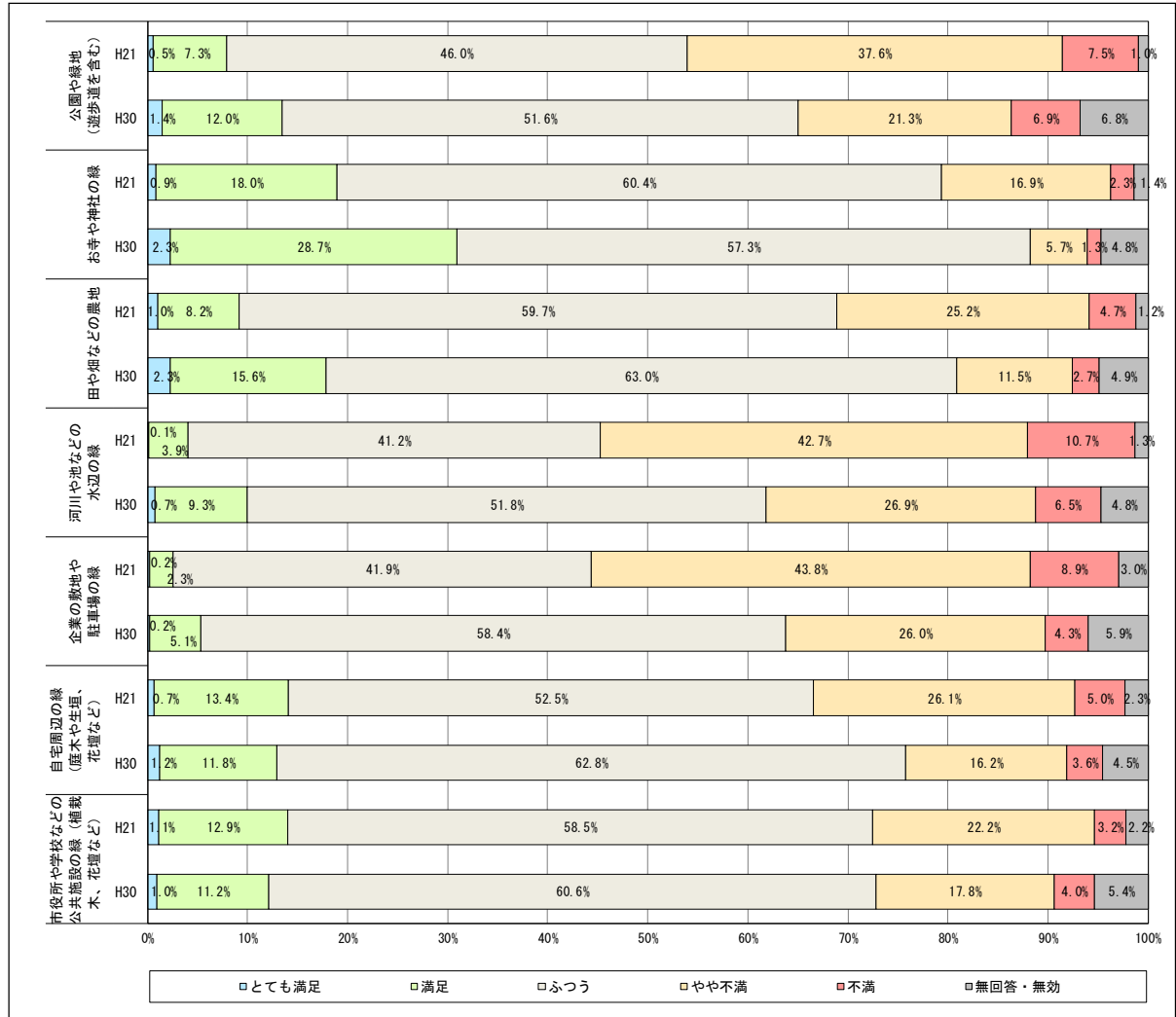
※満足度の点数化：とても満足 2 点、満足 1 点、普通 0 点、やや不満-1 点、不満-2 点として回答者の平均値を算定

※重要度の点数化：重要 2 点、やや重要 1 点、あまり重要でない-1 点、重要でない-2 点として回答者の平均値を算定

■満足度と重要度の関係

過年度と比較すると、「とても満足」と「満足」の割合は多くの項目で増加しています。「田や畑などの農地」が8.7ポイント増加で最も伸びが大きく、次いで「河川や池などの水辺の緑」が6.0ポイント増加しています。

一方「自宅周辺の緑（庭木や生垣、花壇など）」と「市役所や学校などの公共施設の緑（植栽木、花壇など）」は、「とても満足」と「満足」の割合が約1~2ポイント減少しています。



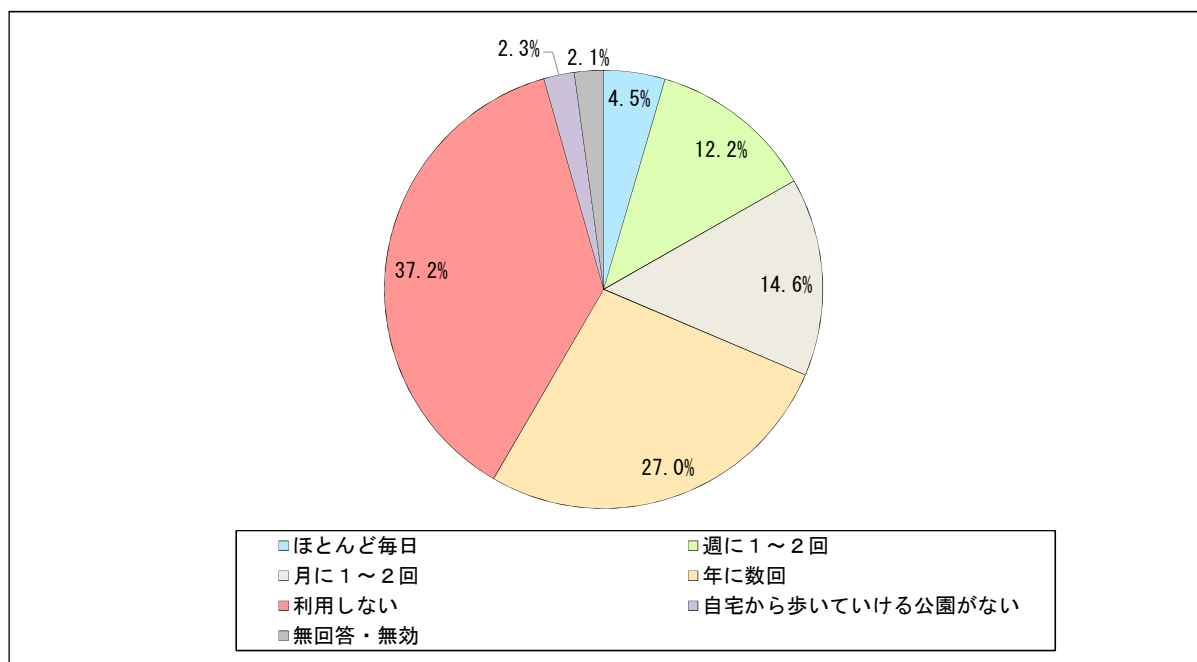
■身近な緑に対する満足度（過年度比較）

2-3 公園・緑地などの利用について

(1) 自宅周辺の公園の利用頻度

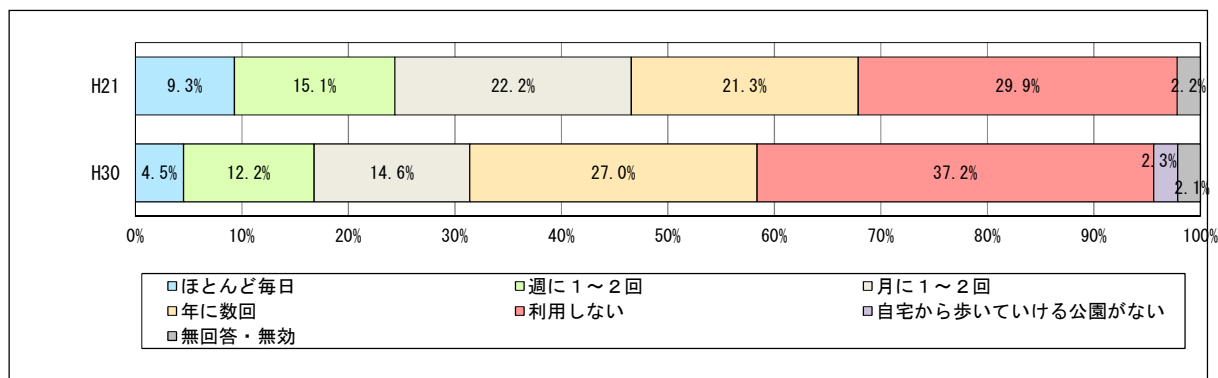
設問5：あなたは普段、ご自宅から歩いていける程度の距離の公園をどの程度利用しますか。次の中から1つを選んで番号に○を付けてください。

「利用しない」が37.2%で最も高く、次いで「年に数回」が27.0%、「月に1～2回」が14.6%となっています。



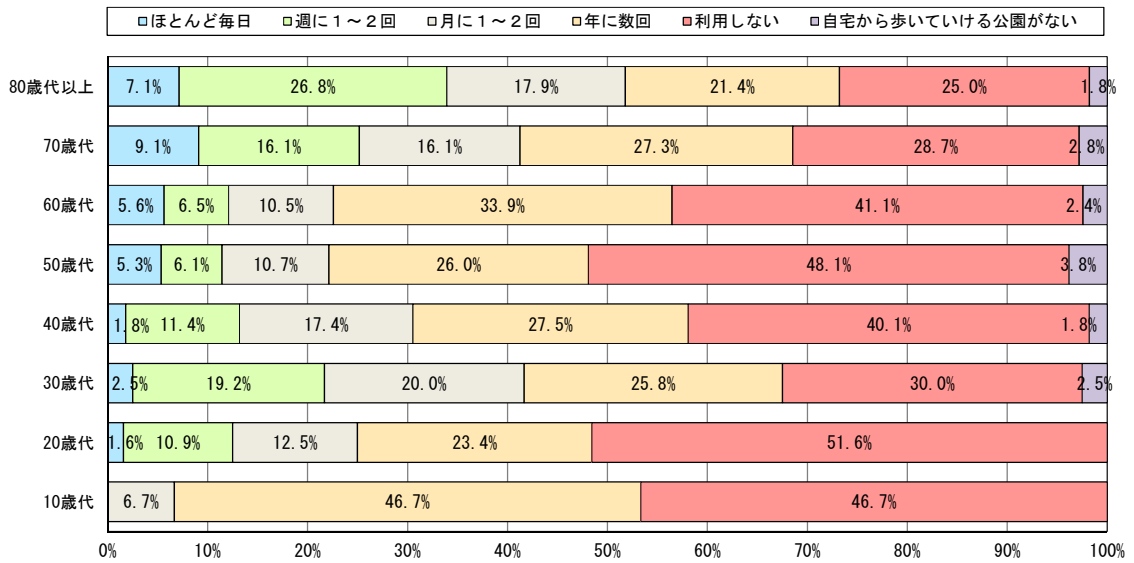
■ 自宅周辺の公園の利用頻度

過年度と比較すると、「年に数回」と「利用しない」の割合が約5～8ポイント増加しています。一方、「ほとんど毎日」、「週に1～2回」および「月に1～2回」の割合は約2～8ポイント減少しています。

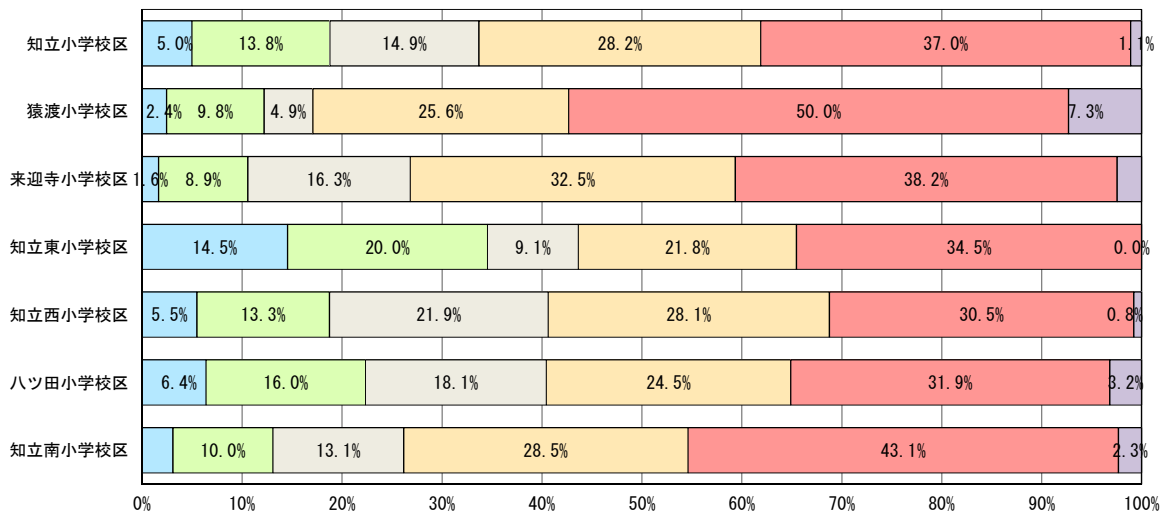


■ 自宅周辺の公園の利用頻度（過年度比較）

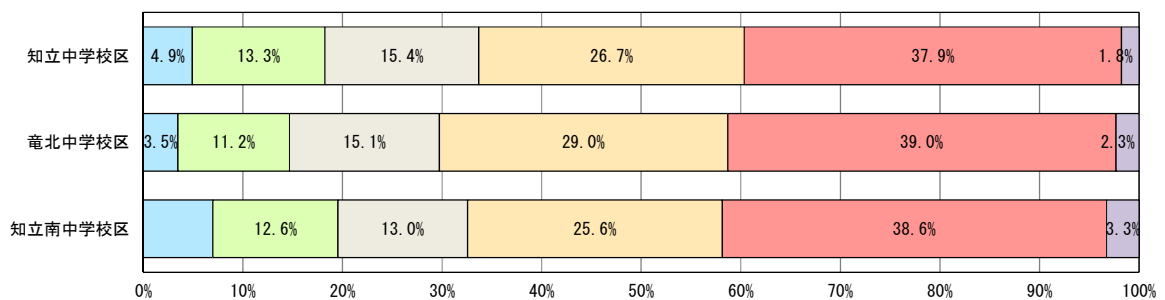
年齢別にみると、30歳代や70歳以上の利用頻度が高くなっています。
 小学校区別にみると、「知立東小学校」で利用頻度が高くなっています。



■ 自宅周辺の公園の利用頻度（年齢別）



■ 自宅周辺の公園の利用頻度（小学校区別）



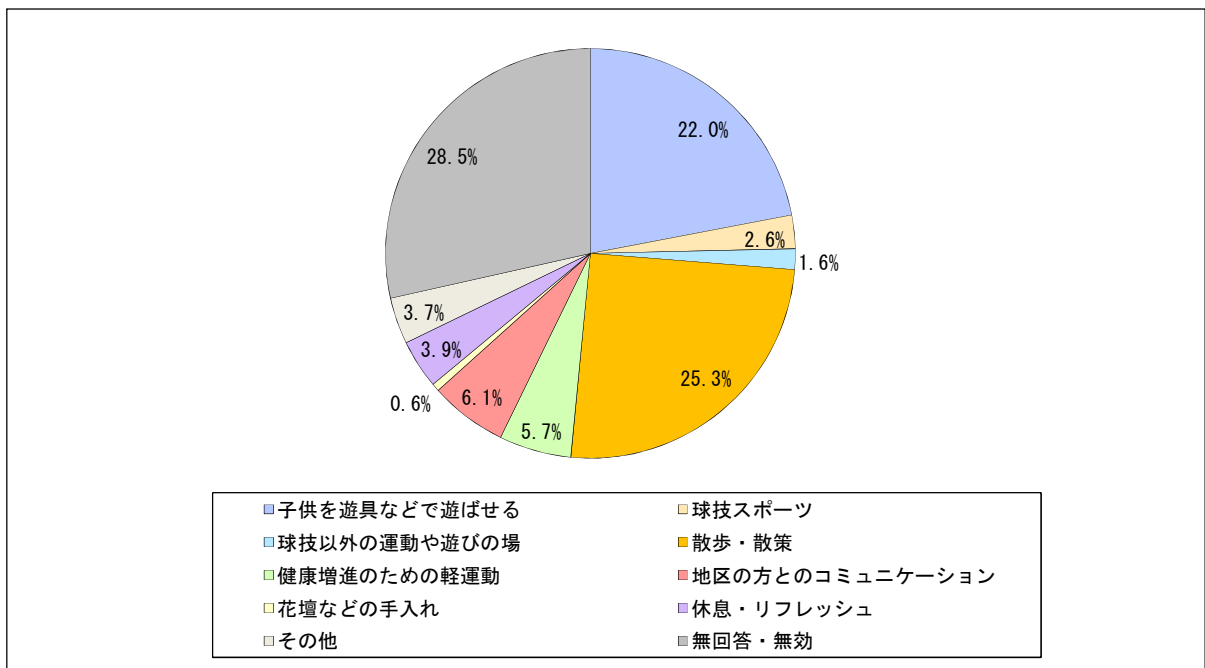
■ 自宅周辺の公園の利用頻度（中学校区別）

(2) 自宅周辺の公園の利用目的

設問6：設問5で「1. ほとんど毎日」～「4. 年に数回」と回答した方にお伺いします。

公園を利用する目的は何ですか。次の中から一番近い番号に○を付けてください。

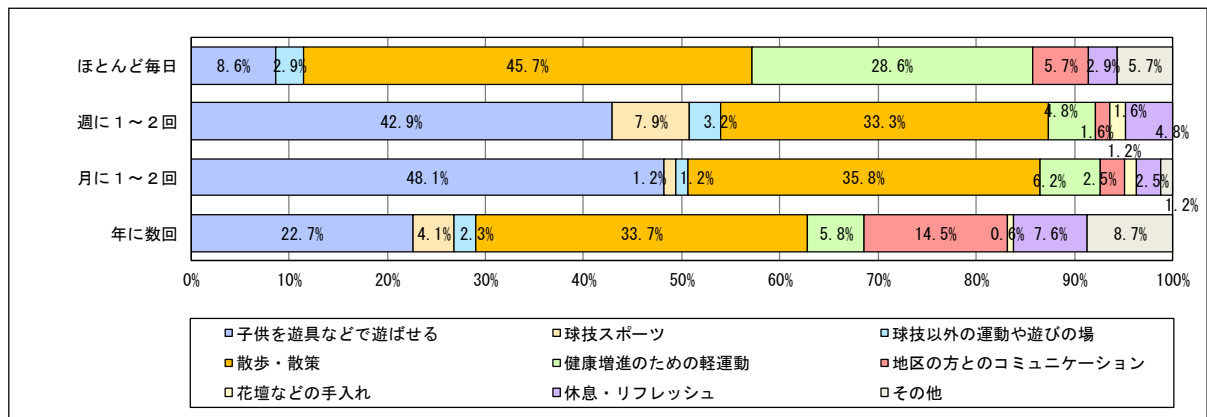
「散歩・散策」が25.3%で最も高く、次いで「子供を遊具などで遊ばせる」が22.0%、「地区の方とのコミュニケーション」が6.1%となっています。



■ 自宅周辺の公園の利用目的（全体）

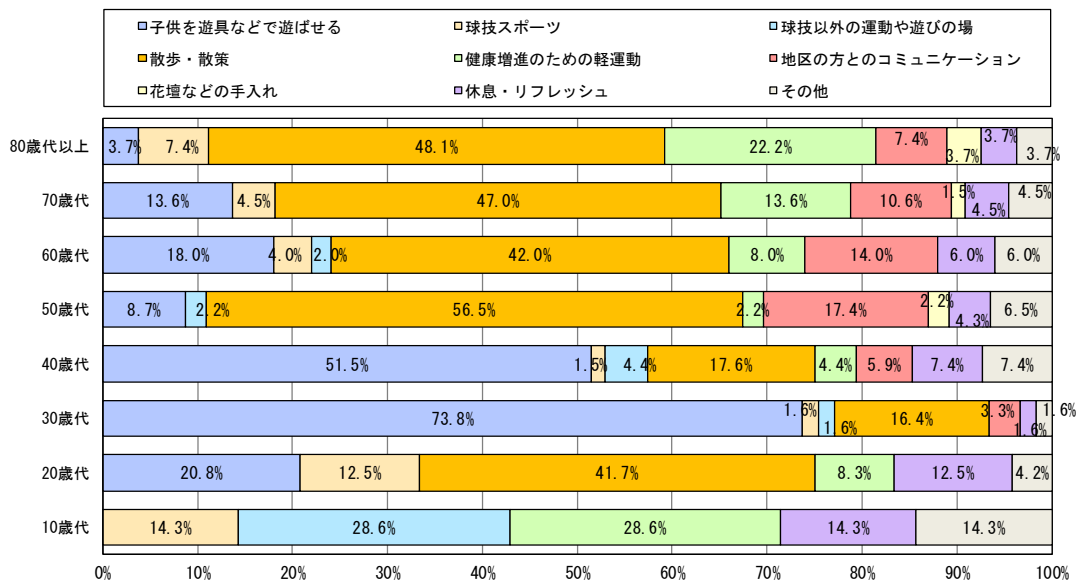
自宅周辺の公園の利用目的を利用頻度別にみると、「ほとんど毎日」公園を利用する人は、「散歩・散策」や「健康増進のための軽運動」での利用が多くなっています。

週に1～2回や月1～2回利用する人は、「子供を遊具などで遊ばせる」「散歩・散策」が多くなっています。



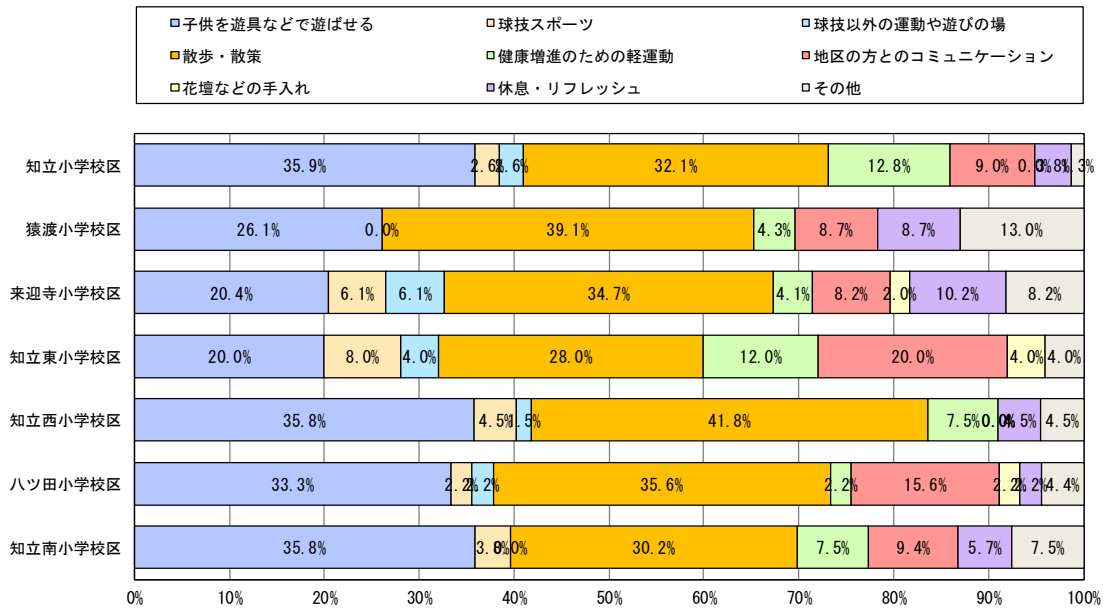
■ 自宅周辺の公園の利用目的（利用頻度別）

年齢別にみると、30～40歳代は「子供を遊具などで遊ばせる」、10歳代は「球技以外の運動や遊びの場」が多く、子どもの遊び場となっています。10歳代と80歳代以上は「健康増進のための軽運動」が他の年代と比較し多くなっています。

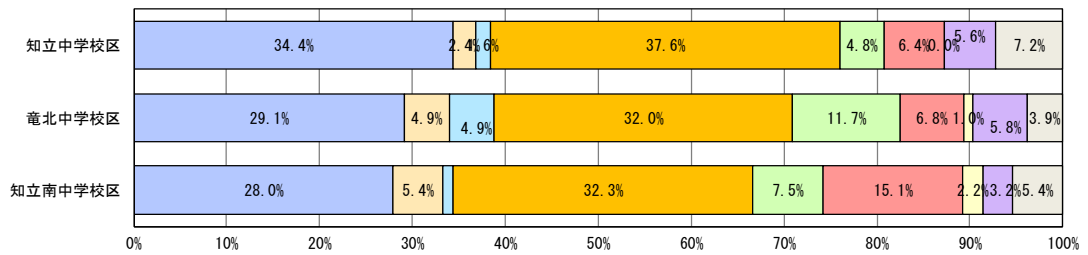


■ 自宅周辺の公園の利用目的（年齢別）

小学校区別、中学校区別にみると、「知立東小学校」「知立南中学校」で「地区の方とのコミュニケーション」が多くなっています。



■ 自宅周辺の公園の利用目的（小学校区別）

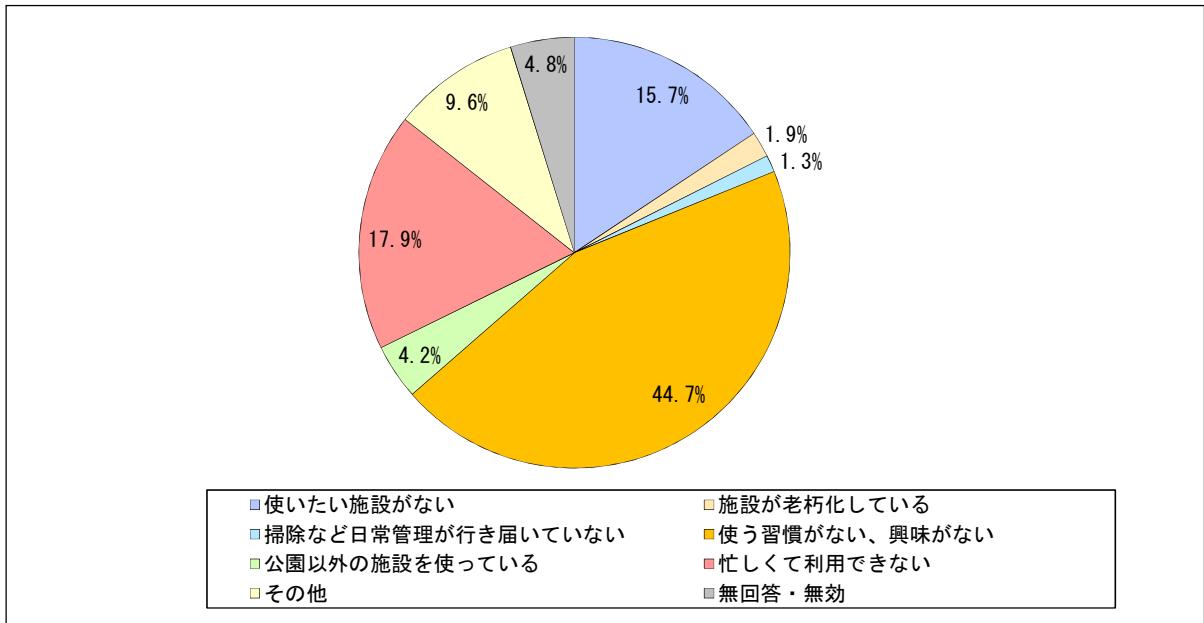


■ 自宅周辺の公園の利用目的（中学校区別）

(3) 公園を利用しない理由

設問7：設問5で「5. 利用しない」と回答した方にお伺いします。
公園を利用されない理由は何ですか。次の中から1つを選んで番号に○を付けてください。

「使う習慣がない、興味がない」が44.7%で最も高く、次いで「忙しくて利用できない」が17.9%、「使いたい施設がない」が15.7%となっています。

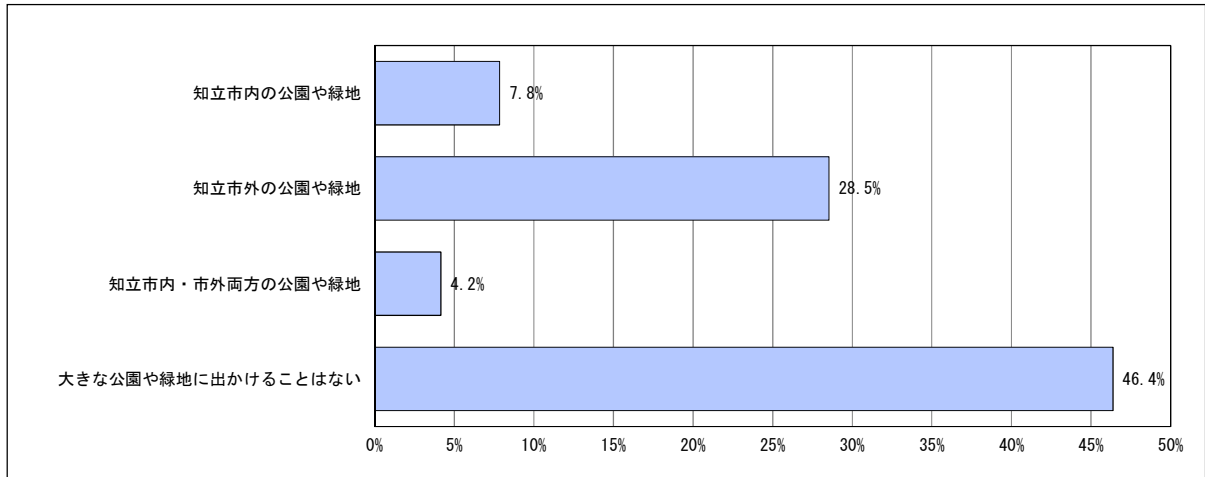


■公園を利用しない理由

(4) 大きな公園や緑地の利用

設問8：休日などに時間をかけて楽しむことができる大きな公園や緑地に出かけることはありますか。次の中から1つを選んで番号に○を付けてください。
「1. 知立市内」と「2. 知立市外」の両方に該当する場合、よく行かれる方の公園や緑地を対象としてください。

「大きな公園や緑地に出かけることはない」が46.4%で最も高く、次いで「知立市外の公園や緑地」が28.5%、「知立市内の公園や緑地」が7.8%となっています。



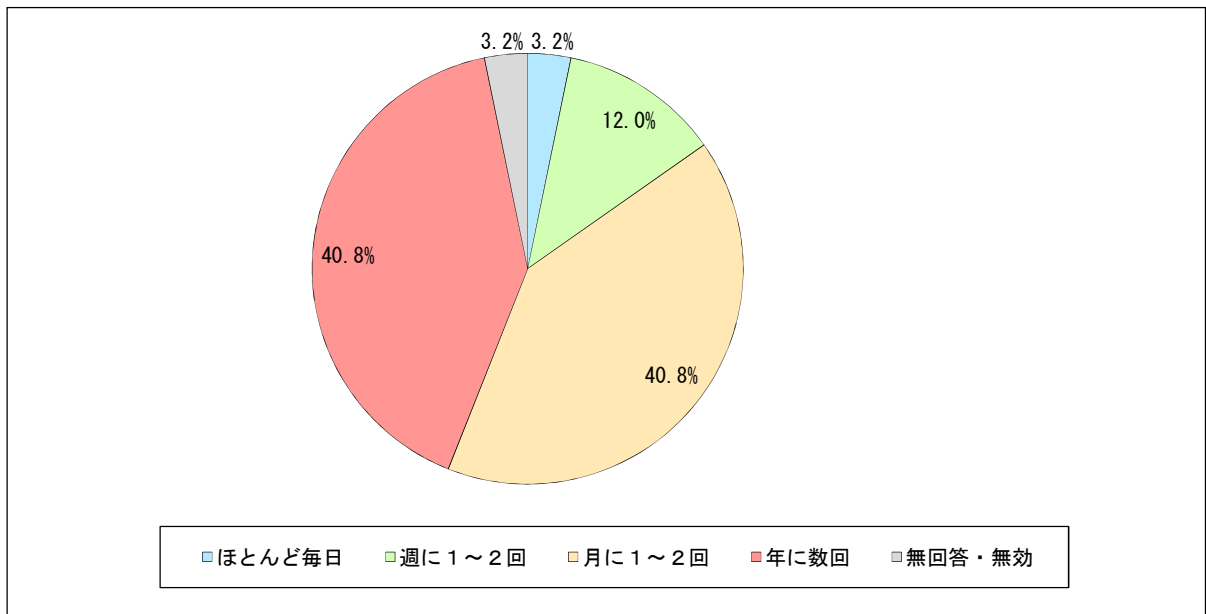
■大きな公園や緑地の利用

(5) 大きな公園や緑地の利用頻度

設問9：設問8で「1. 知立市内の公園や緑地」または「2. 知立市外の公園や緑地」と回答した方にお伺いします。

あなたは、休日などに時間をかけて楽しむことができる大きな公園や緑地をどの程度利用しますか。次の中から1つを選んで番号に○を付けてください。

「月に1~2回」と「年に数回」がともに40.8%で最も高く、次いで「週に1~2回」が12.0%となっています。



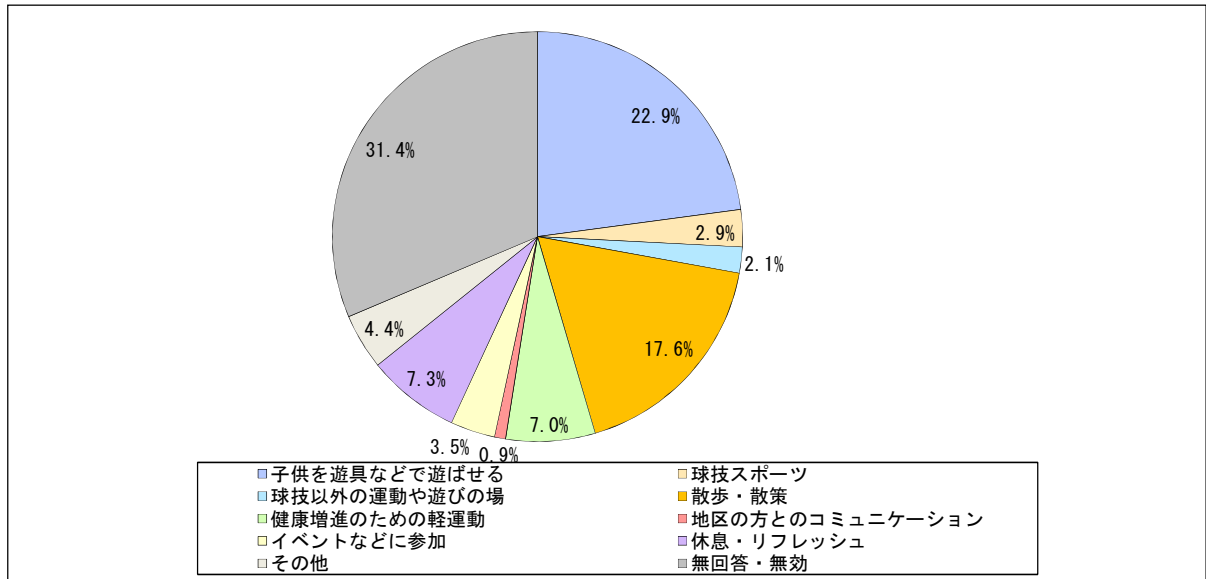
■大きな公園や緑地の利用頻度

(6) 大きな公園や緑地の利用目的

設問 10：設問 8 で「1. 知立市内の公園や緑地」または「2. 知立市外の公園や緑地」と回答した方にお伺いします。

大きな公園や緑地を利用する目的は何ですか。次の中から一番近い番号に丸を付けてください。

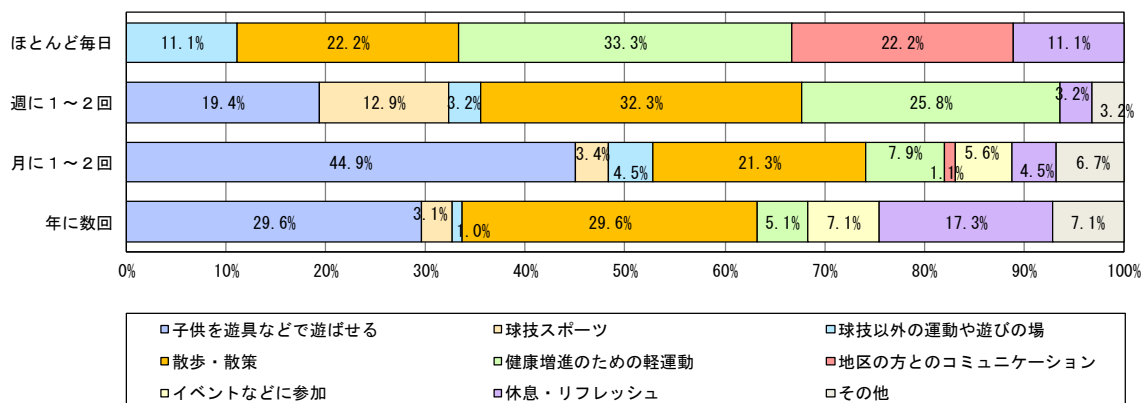
「子供を遊具などで遊ばせる」が 22.9% で最も高く、次いで「散歩・散策」が 17.6%、「休息・リフレッシュ」が 7.3% となっています。



■大きな公園や緑地の利用目的（全体）

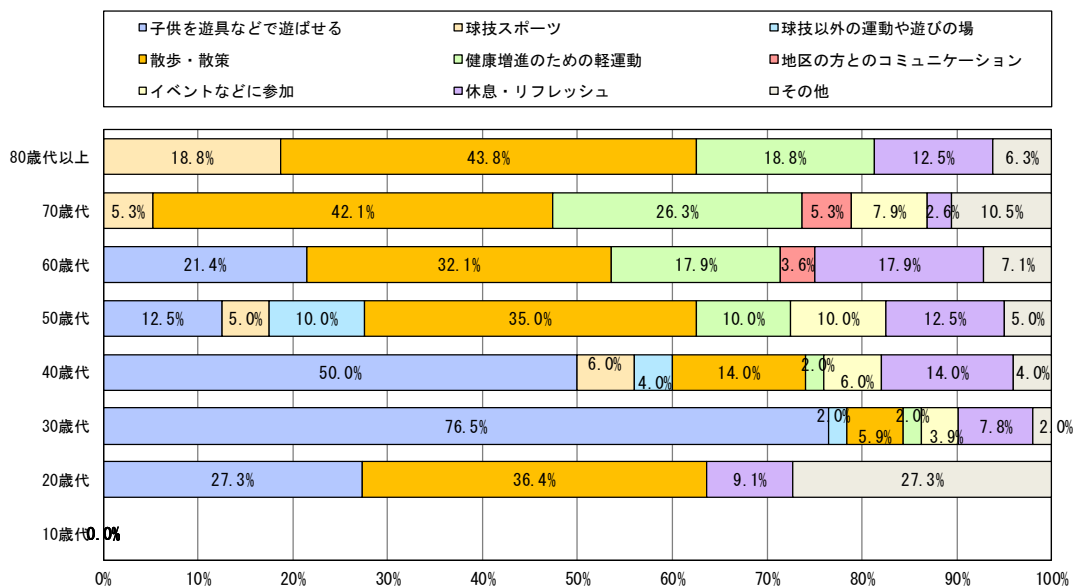
自宅周辺の公園の利用目的を利用頻度別にみると、「ほとんど毎日」公園を利用する人は、「健康増進のための軽運動」のほか、「散歩・散策」や「地区の方とのコミュニケーション」での利用が多くなっています。

週に1～2回や月1～2回、年に数回利用する人は、「子供を遊具などで遊ばせる」「散歩・散策」が多くなっています。



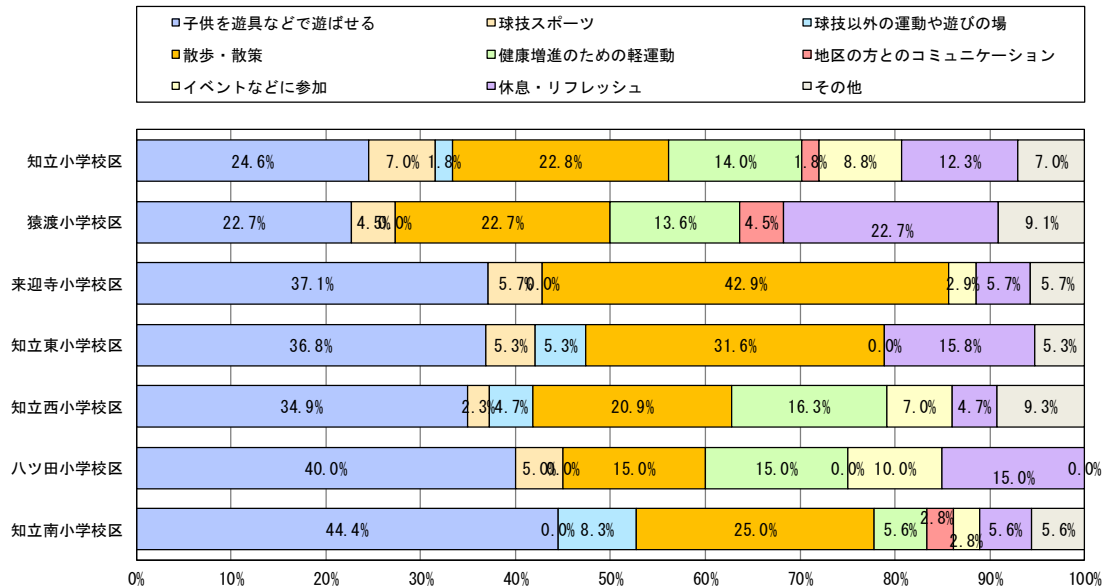
■大きな公園や緑地の利用目的（利用頻度別）

年齢別にみると、30～40歳代は「子供を遊具などで遊ばせる」が多く、高齢者は「健康増進のための軽運動」が多くなっています。

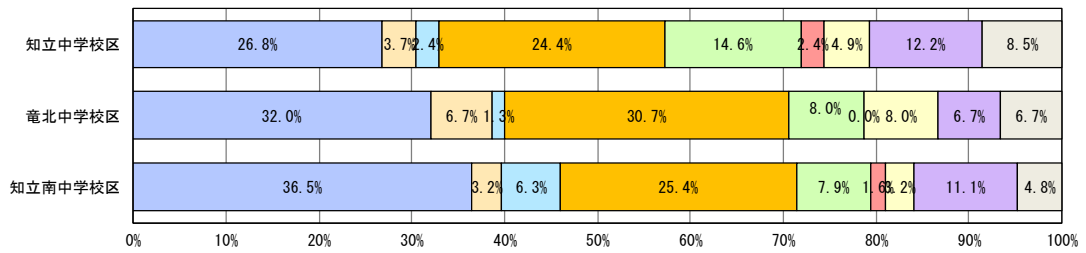


■大きな公園や緑地の利用目的（年齢別）

小学校区別、中学校区別にみると、「知立小学校」「猿渡小学校」「知立中学校」では、「子供を遊具などで遊ばせる」が少なくなっています。



■大きな公園や緑地の利用目的（小学校区別）

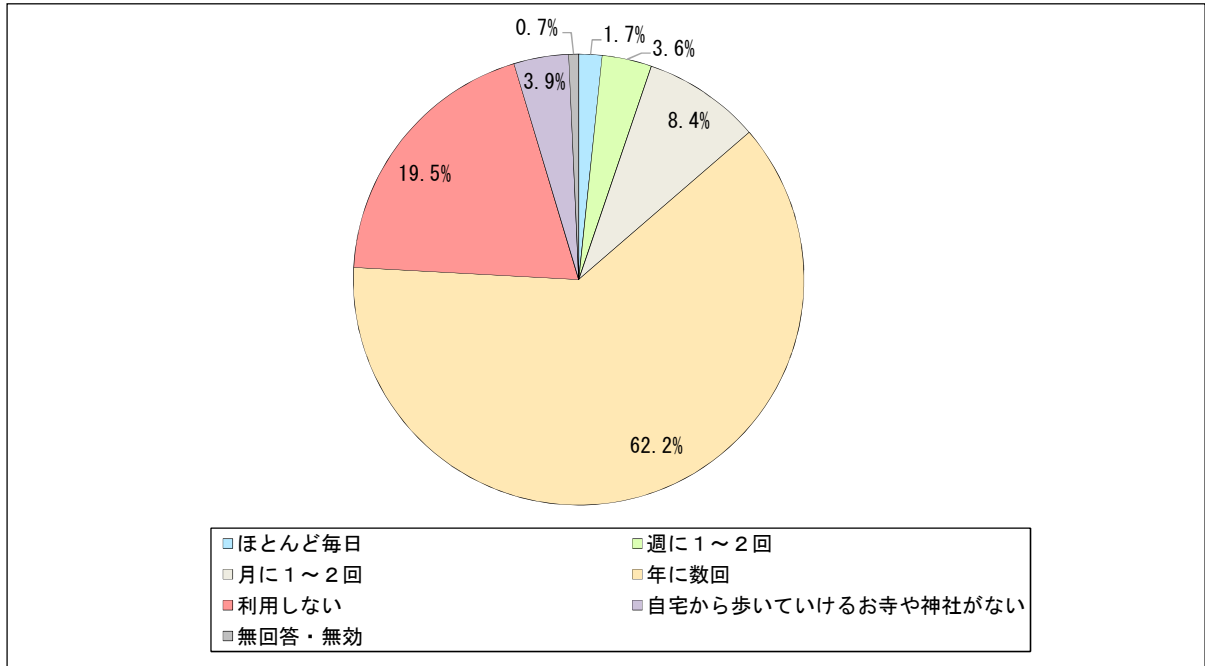


■大きな公園や緑地の利用目的（中学校区別）

(7) 知立市内のお寺や神社の利用頻度

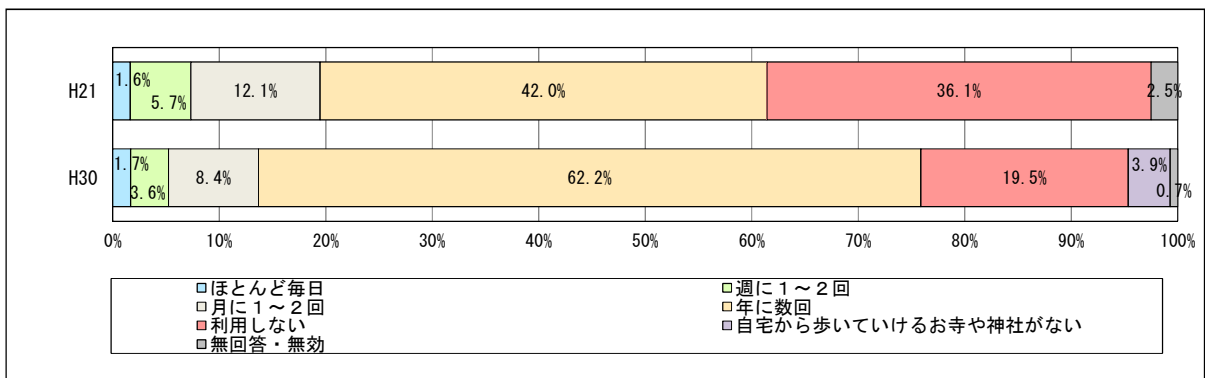
設問 11：あなたは普段、知立市内のお寺や神社にどの程度出かけますか。次の中から1つを選んで番号に○を付けてください。

「年に数回」が62.2%で最も高く、次いで「利用しない」が19.5%、「月に1～2回」が8.4%となっています。



■ 知立市内のお寺や神社の利用頻度

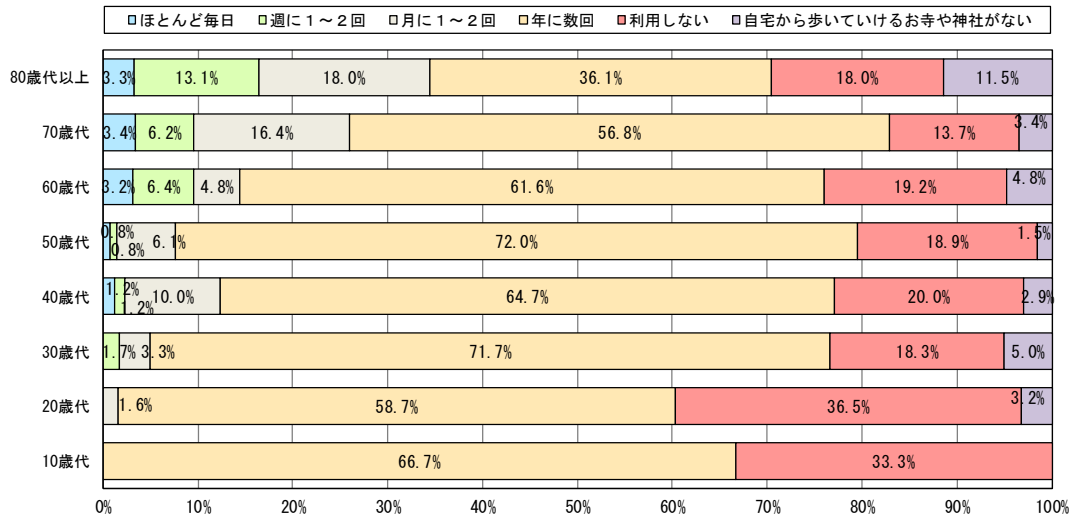
過年度と比較すると、「年に数回」の割合が20.2ポイント増加しています。一方、「週に1～2回」の割合が2.1ポイント、「月に1～2回」の割合が3.7ポイント、「利用しない」の割合が16.6ポイント減少しています。



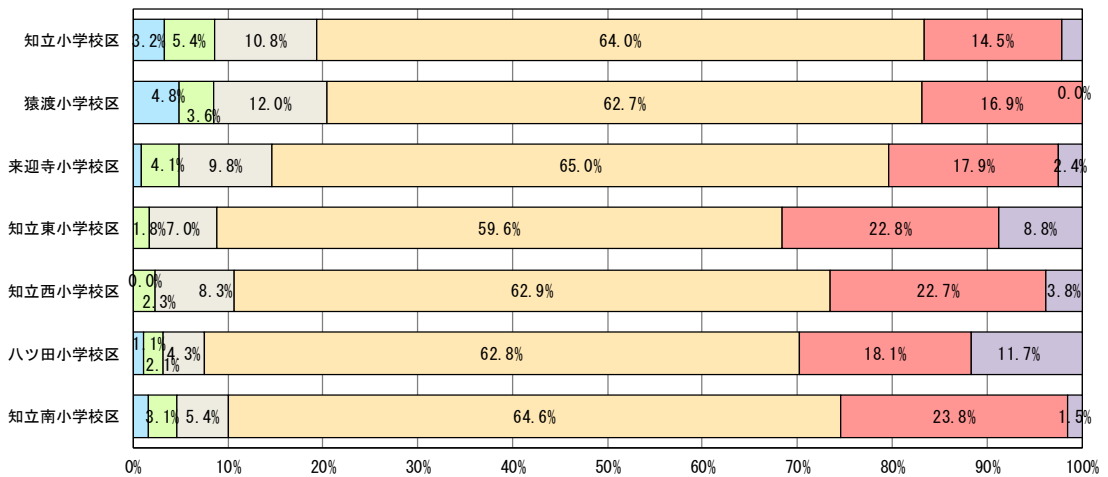
■ 知立市内のお寺や神社の利用頻度（過年度比較）

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ、週に1～2回以上利用している人が多くなる傾向にあります。

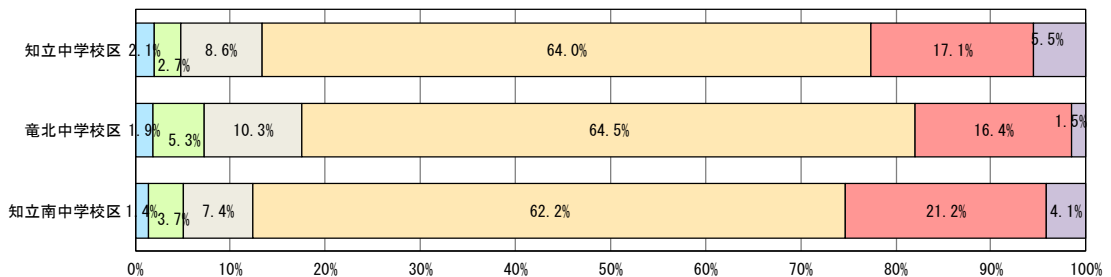
小学校区別、中学校区別にみると、「知立小学校」「猿渡小学校」で、週に1～2回以上利用している人が多くなっています。



■ 知立市内のお寺や神社の利用頻度（年齢別）



■ 知立市内のお寺や神社の利用頻度（小学校区別）

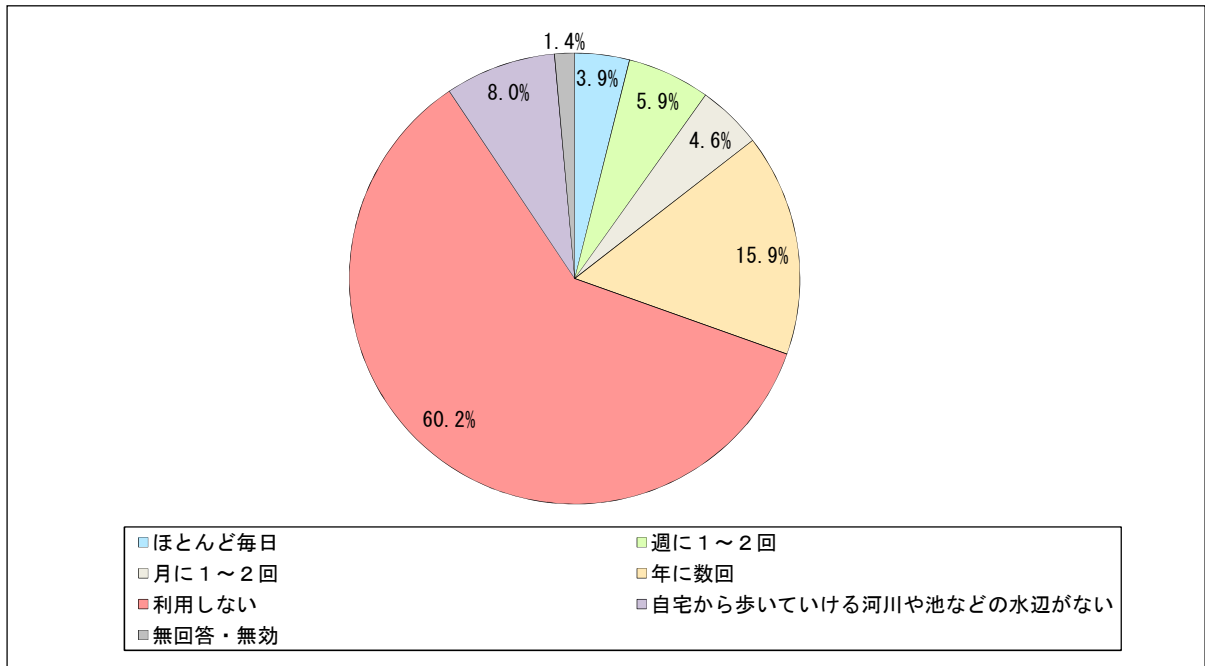


■ 知立市内のお寺や神社の利用頻度（中学校区別）

(8) 知立市内の水辺の利用頻度

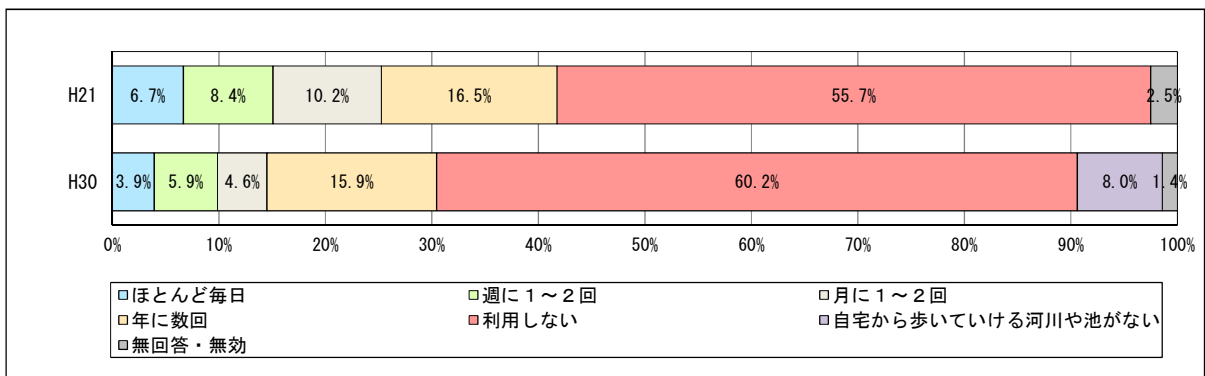
設問 12：あなたは普段、知立市内の河川や池などの水辺にどの程度出かけますか。
次の中から1つを選んで番号に○を付けてください。

「利用しない」が60.2%で最も高く、次いで「年に数回」が15.9%、「自宅から歩いていける河川や池などの水辺がない」が8.0%となっています。



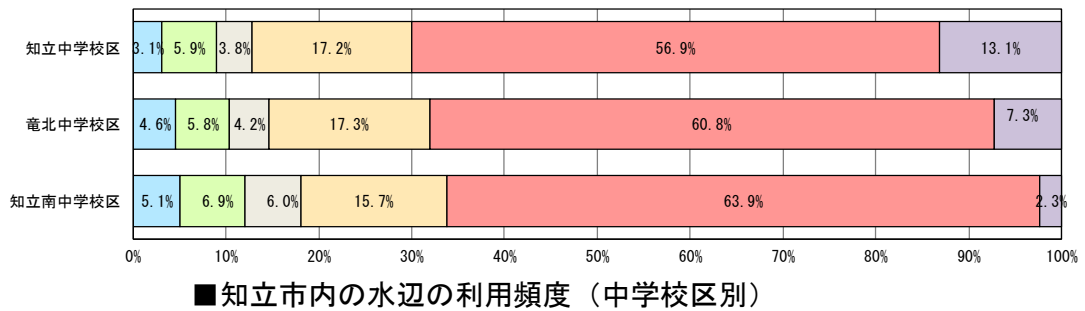
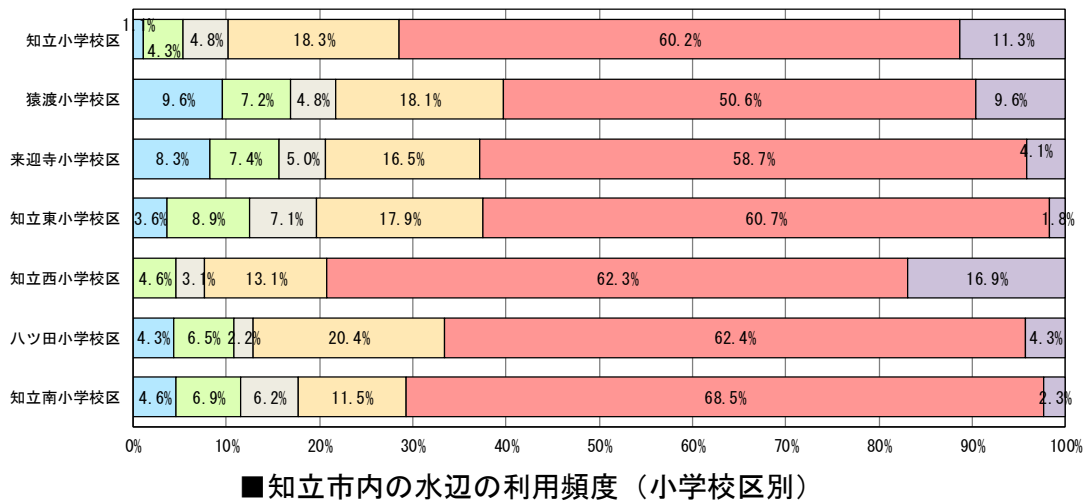
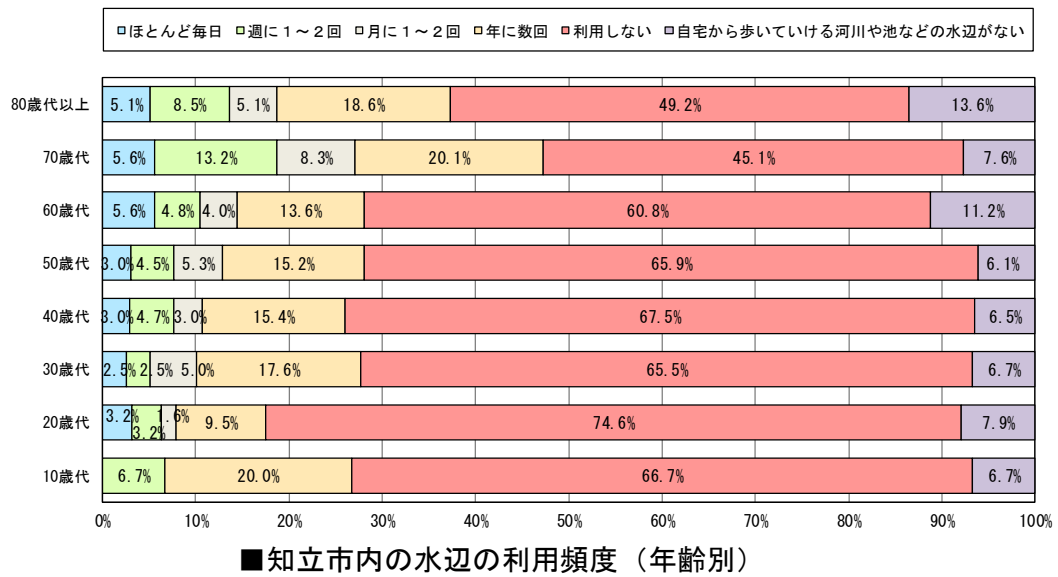
■ 知立市内の水辺の利用頻度

過年度と比較すると、「利用しない」の割合が4.4ポイント増加しています。一方、「ほとんど毎日」の割合が2.7ポイント、「週に1~2回」の割合が2.5ポイント、「月に1~2回」の割合が5.5ポイント、「年に数回」の割合が0.6ポイント減少しています。



■ 知立市内の水辺の利用頻度（過年度比較）

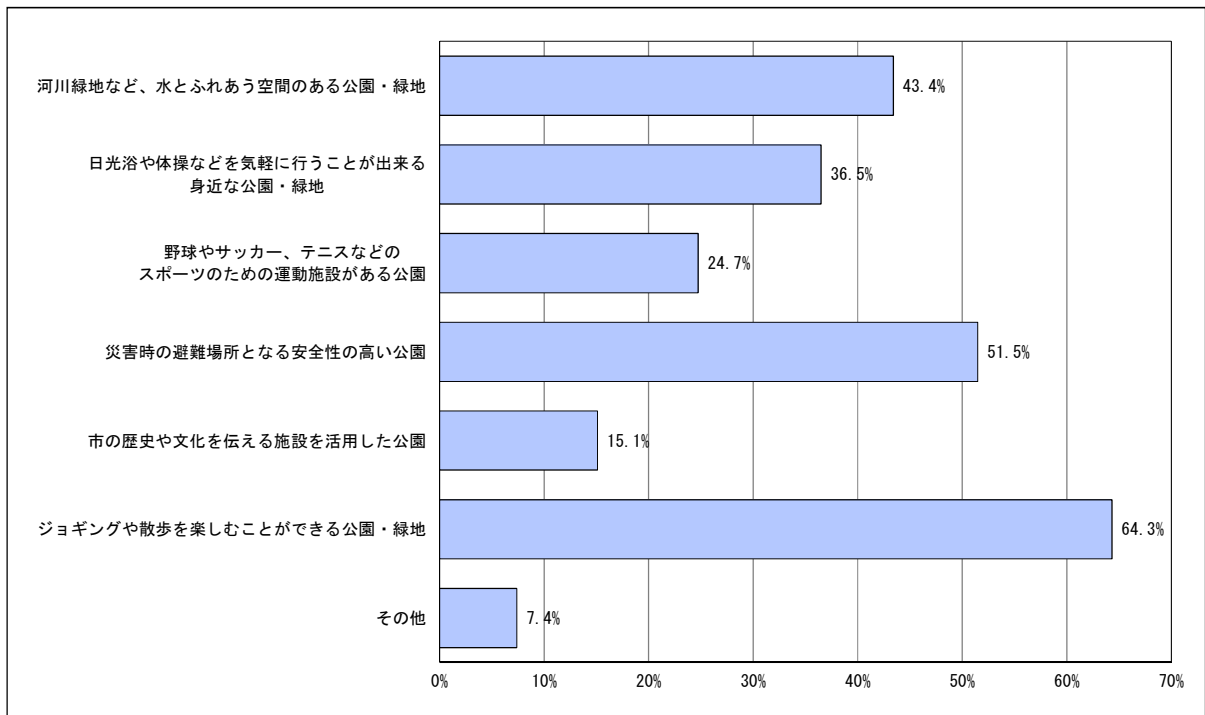
年齢別にみると、70歳代以上が週に1～2以上、水辺を訪れている人が多い。
 小学校区別にみると、猿渡川沿いの小学校で来訪頻度が高くなっています。



(9) 公園・緑地の将来像

設問 13：あなたは将来どのような公園・緑地を望まれますか。次の中から当てはまる番号全てに○を付けてください。

「ジョギングや散歩を楽しむことができる公園・緑地」が 64.3%で最も高く、次いで「災害時の避難場所となる安全性の高い公園」が 51.5%、「河川緑地など、水とふれあう空間のある公園・緑地」が 43.4%となっています。



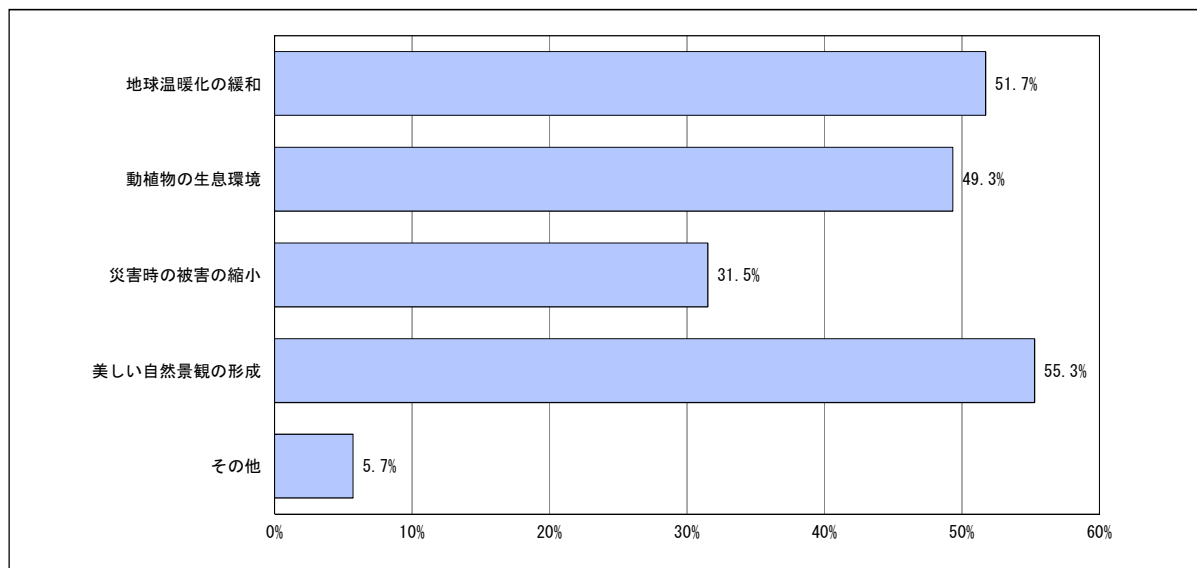
■ 将来の公園・緑地

2-4 農地について

(1) 市街地外の農地の役割

設問 14：市街地の外にある農地にどのような役割を期待されますか。次の中から当てはまる番号全てに○を付けてください。

「美しい自然景観の形成」が55.3%で最も高く、次いで「地球温暖化の緩和」が51.7%、「動植物の生息環境」が49.3%となっています。

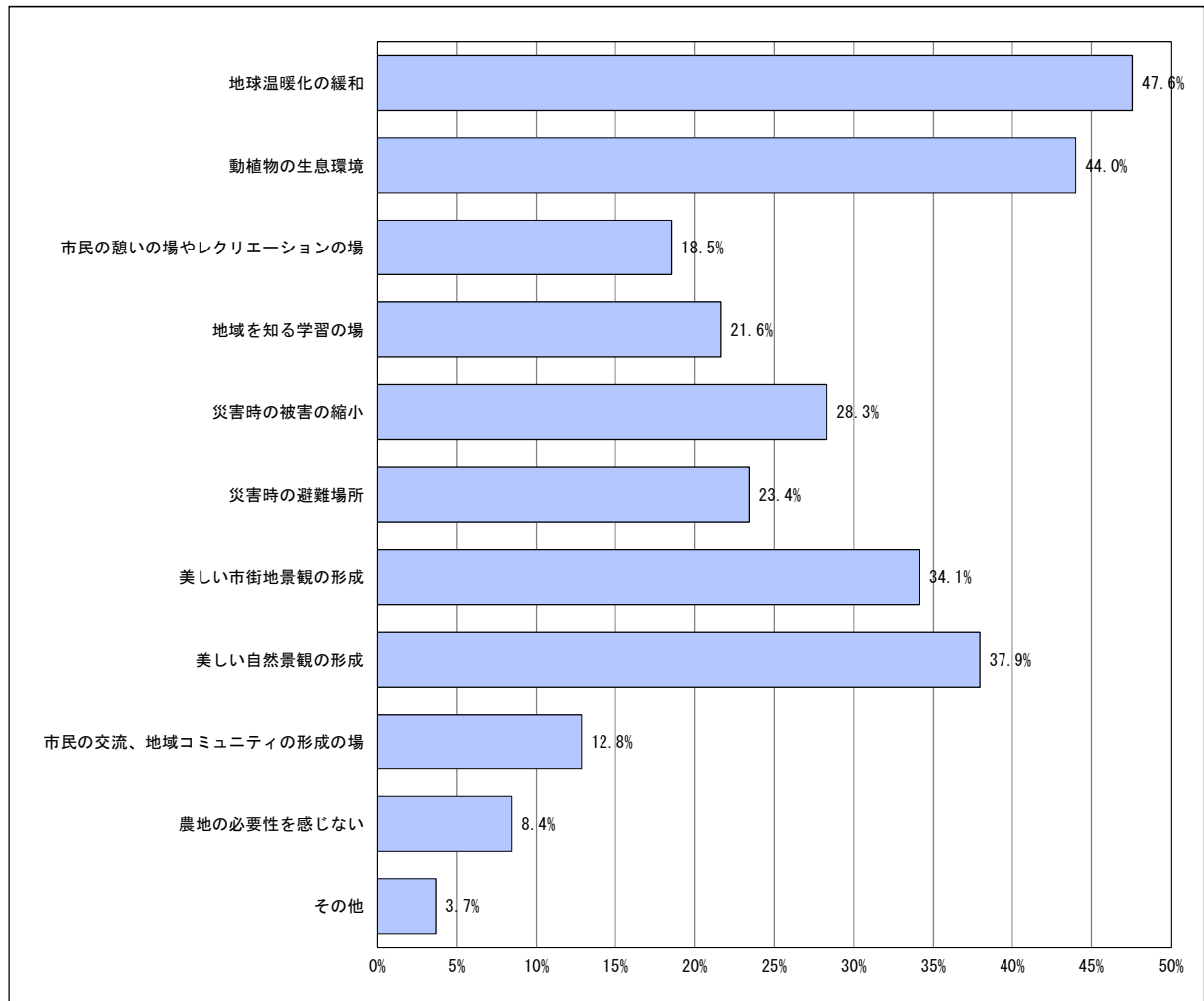


■市街地外の農地の役割

(2) 市街地の農地の役割

設問 15：市街地にある農地にどのような役割を期待されますか。次の中から当てはまる番号全てに○を付けてください。

「地球温暖化の緩和」が47.6%で最も高く、次いで「動植物の生息環境」が44.0%、「美しい自然景観の形成」が37.9%となっています。



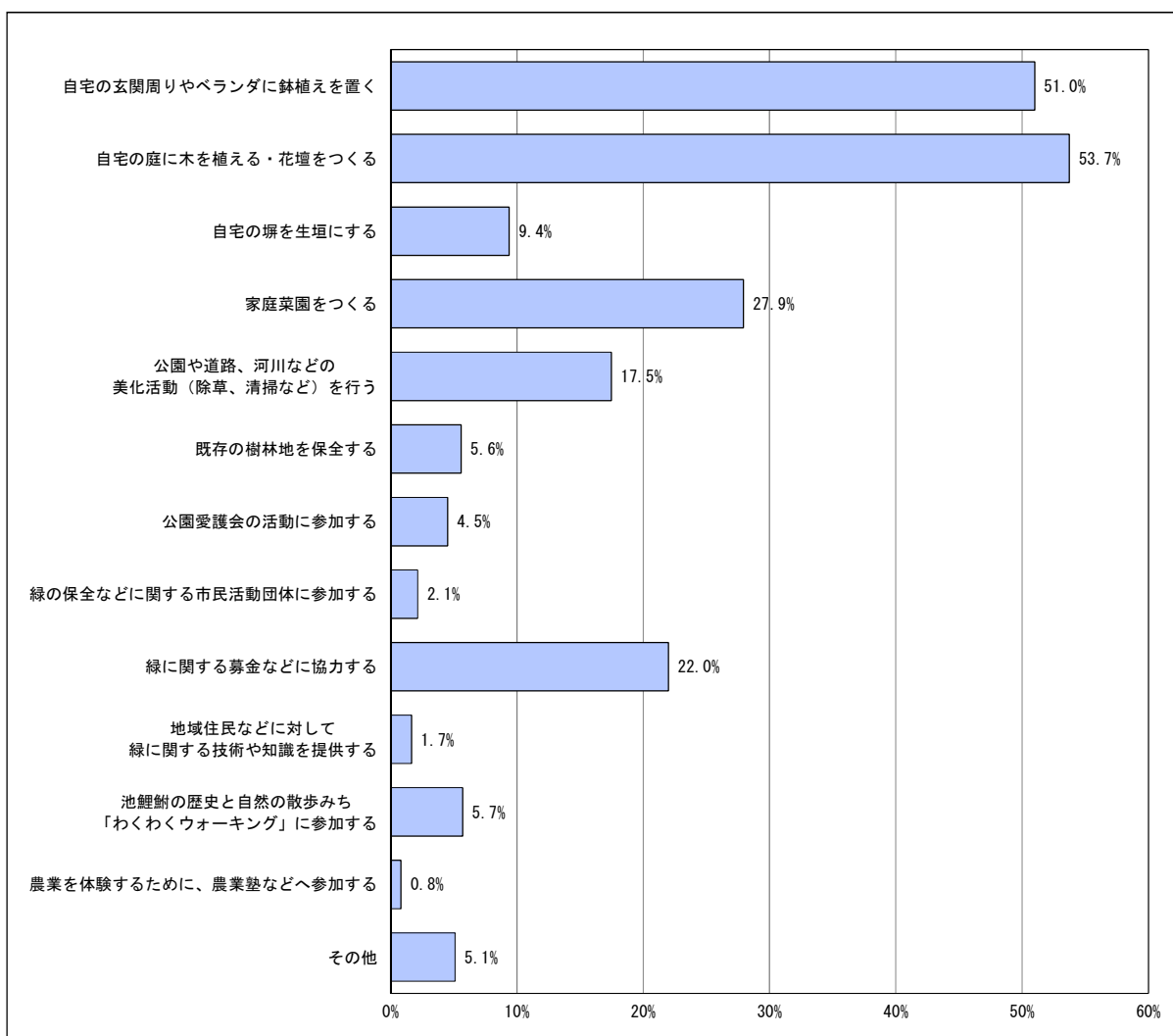
■市街地の農地の役割

2-5 緑のまちづくりへの参加について

(1) 緑の保全・育成に関する現在の取組み

設問 16：緑の保全・育成に関して現在行っている取組みについて、次の中から当てはまる番号全てに○を付けてください。

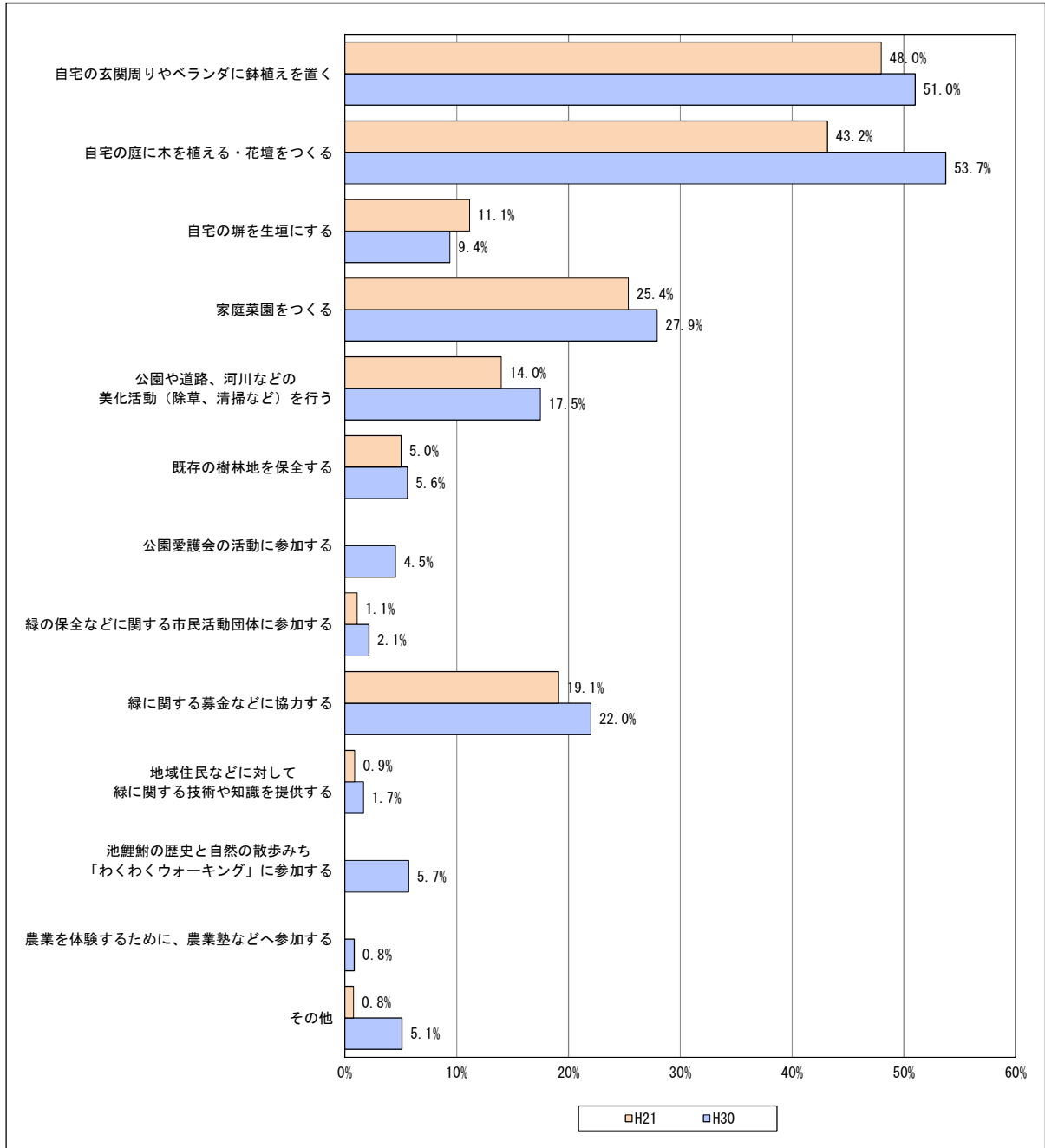
「自宅の庭に木を植える・花壇をつくる」が 53.7%で最も高く、次いで「自宅の玄関周りやベランダに鉢植えを置く」が 51.0%、「家庭菜園をつくる」が 27.9%となっています。



■緑の保全・育成に関する現在の取組み

過年度と比較すると、ほぼ全ての項目で割合が増加しています。

「自宅の庭に木を植える・花壇をつくる」が 10.5 ポイント増加で最も伸びが大きく、次いで「公園や道路、河川などの美化活動（除草、清掃など）を行う」が 3.5 ポイント、「自宅の玄関周りやベランダに鉢植えを置く」が 3.0 ポイント増加しています。

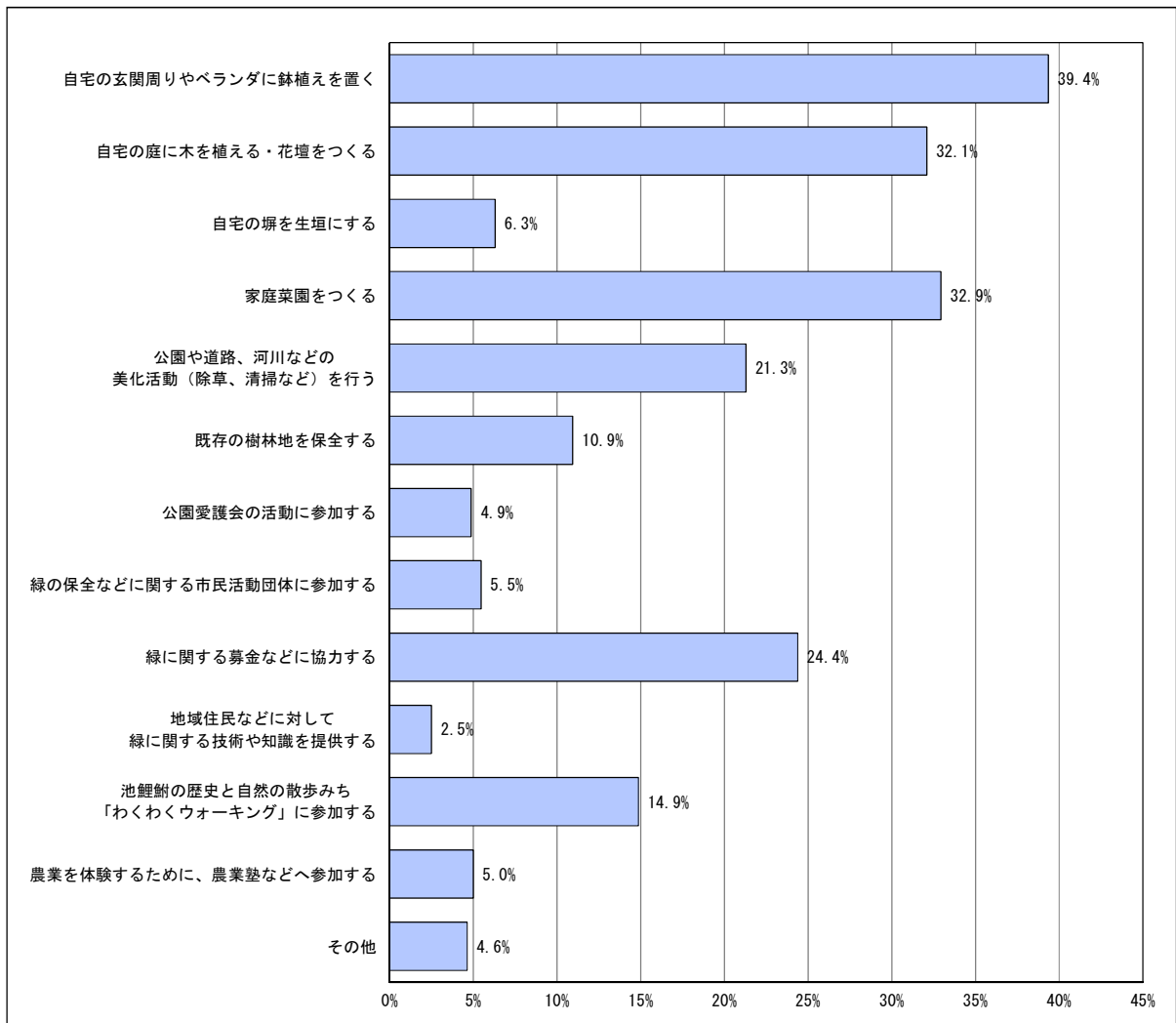


■緑の保全・育成に関する現在の取組み（過年度比較）

(2) 緑の保全・育成に関する今後の取組み

設問 17：緑の保全・育成に関して今後行いたいと思う取組みについて、次の中から当てはまる番号全てに○を付けてください。

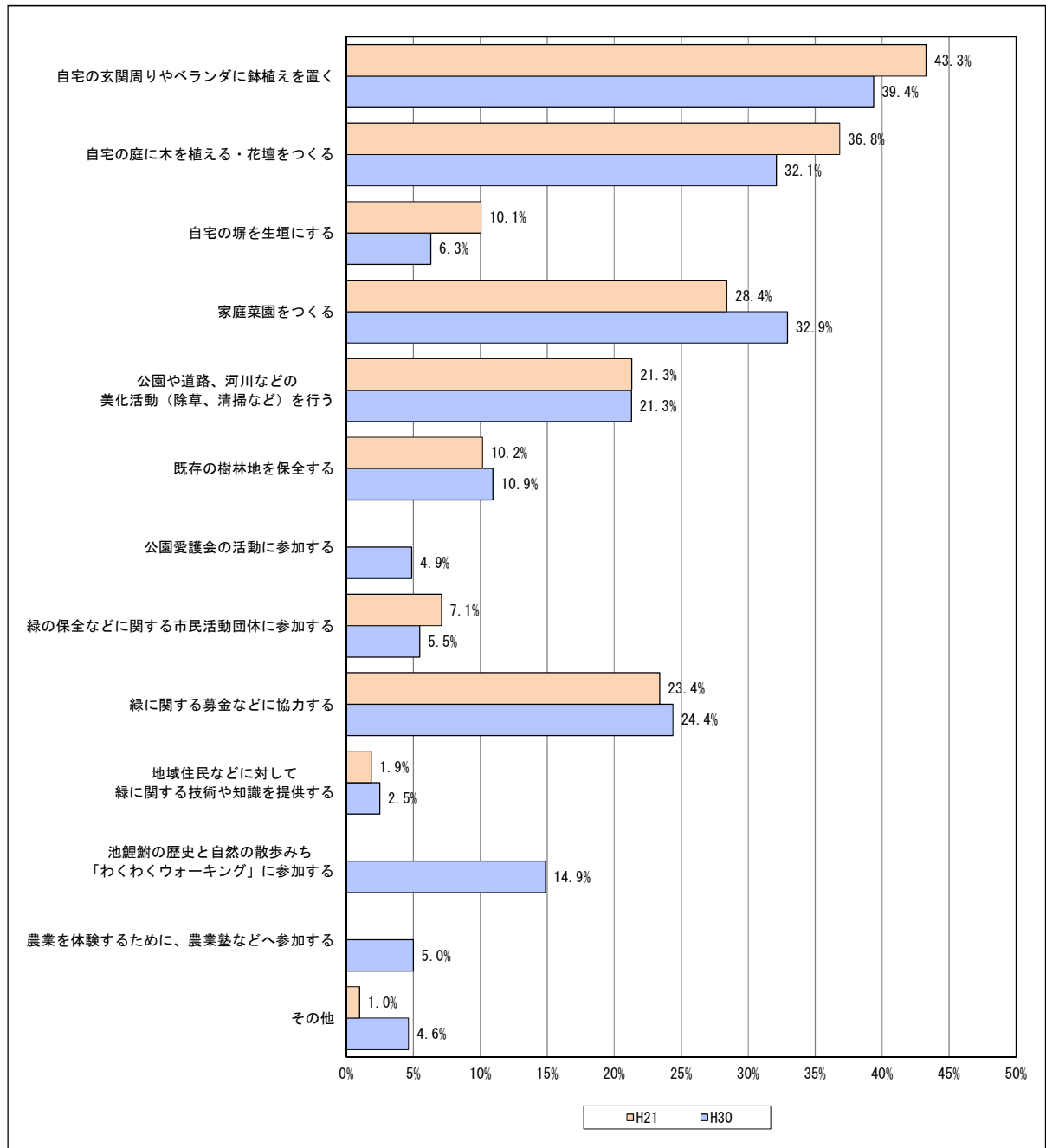
「自宅の玄関周りやベランダに鉢植えを置く」が 39.4%で最も高く、次いで「家庭菜園をつくる」が 32.9%、「自宅の庭に木を植える・花壇をつくる」が 32.1%となっています。



■緑の保全・育成に関する今後の取組み

過年度と比較すると、「家庭菜園をつくる」が4.5ポイント増加で最も伸びが大きく、次いで「緑に関する募金などに協力する」が1.0ポイント増加しています。

一方、「自宅の庭に木を植える・花壇をつくる」が4.7ポイント、「自宅の玄関周りやベランダに鉢植えを置く」が3.9ポイント、「自宅の塀を生垣にする」が3.8ポイント減少しています。

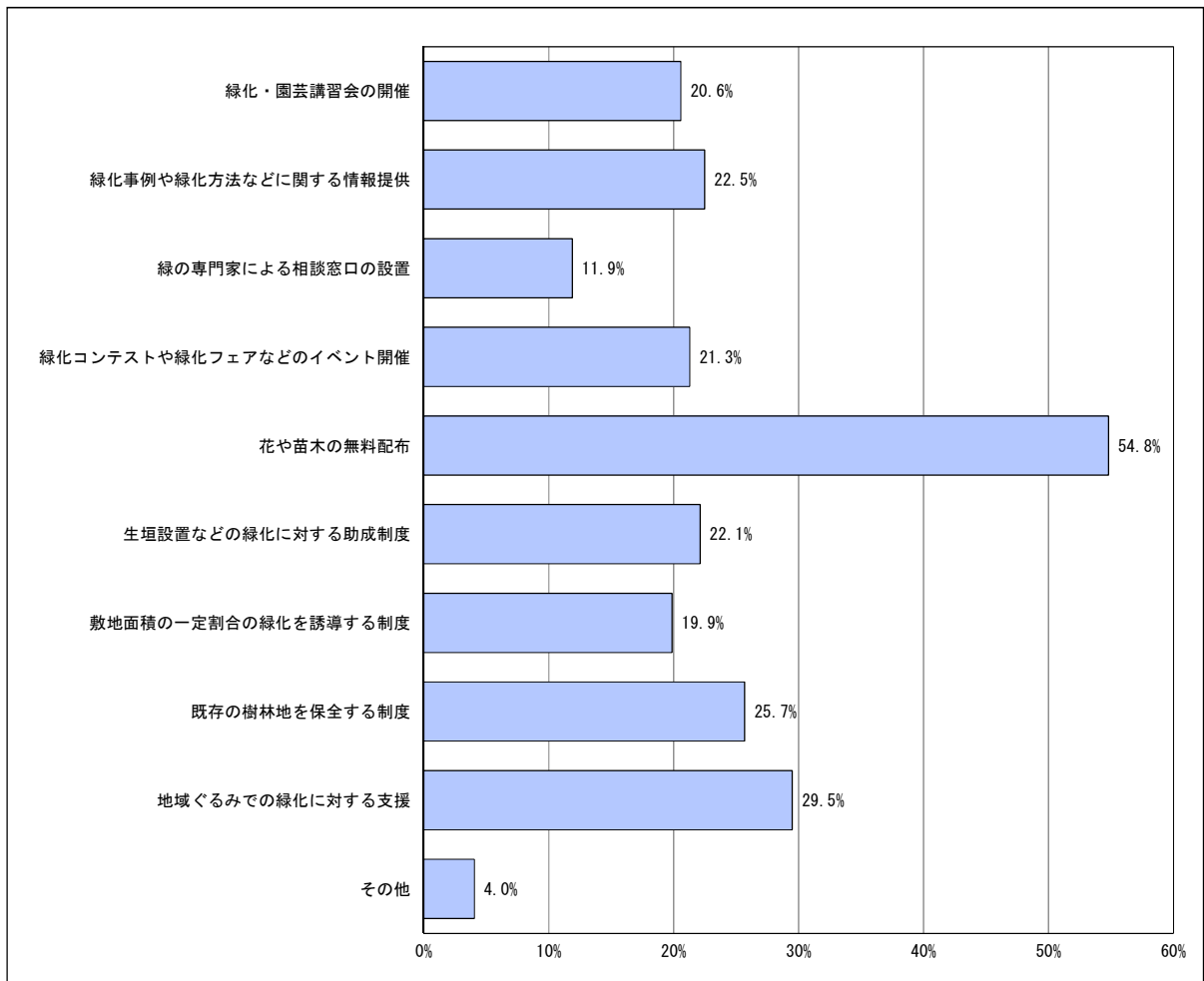


■緑の保全・育成に関する今後の取組み（過年度比較）

(3) 緑を増やすために必要な支援・制度

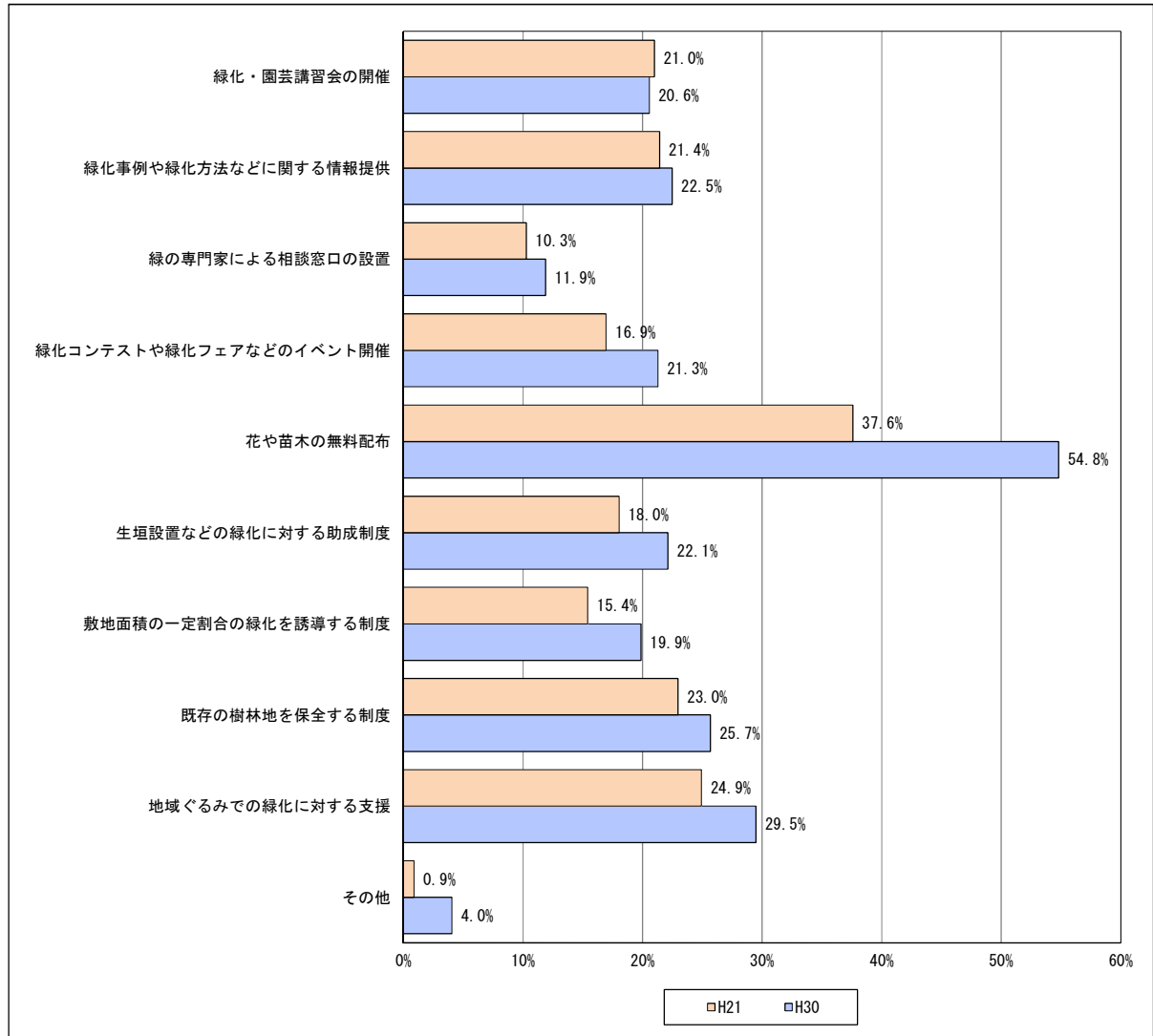
設問 18：自宅（店舗、工場なども含む）や周辺の住宅、工場などの緑を増やしていくために、特にどんな支援・制度などがあればよいと思いますか。次の中から当てはまる番号全てに○を付けてください。

「花や苗木の無料配布」が 54.8%で最も高く、次いで「地域ぐるみでの緑化に対する支援」が 29.5%、「既存の樹林地を保全する制度」が 25.7%となっています。



■ 緑を増やすための支援・制度

過年度と比較すると、「花や苗木の無料配布」が 17.2 ポイント増加で最も伸びが大きく、次いで「地域ぐるみでの緑化に対する支援」が 4.6 ポイント、「敷地面積の一定割合の緑化を誘導する制度」が 4.5 ポイント増加しています。

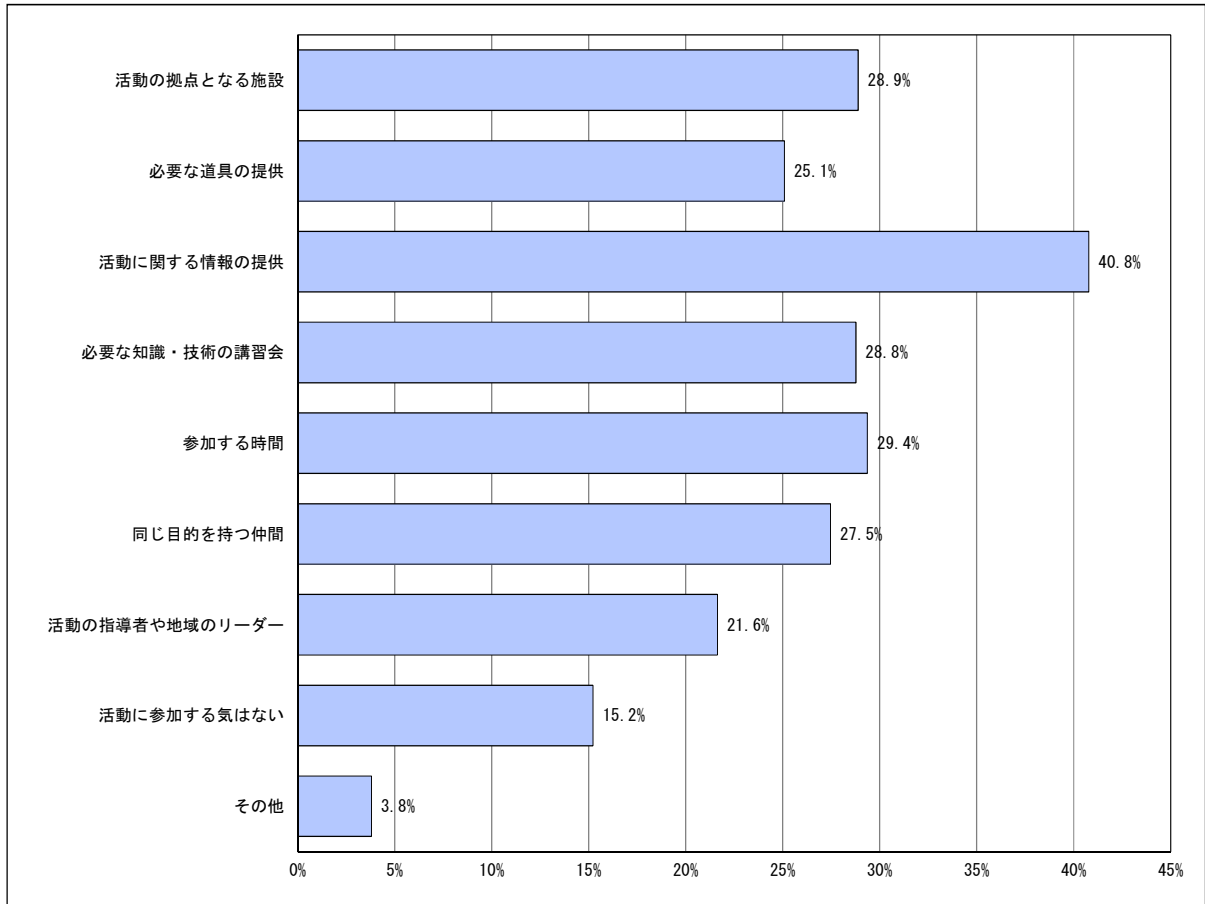


■ 緑を増やすための支援・制度（過年度比較）

(4) 緑を守り、増やす活動に必要なもの

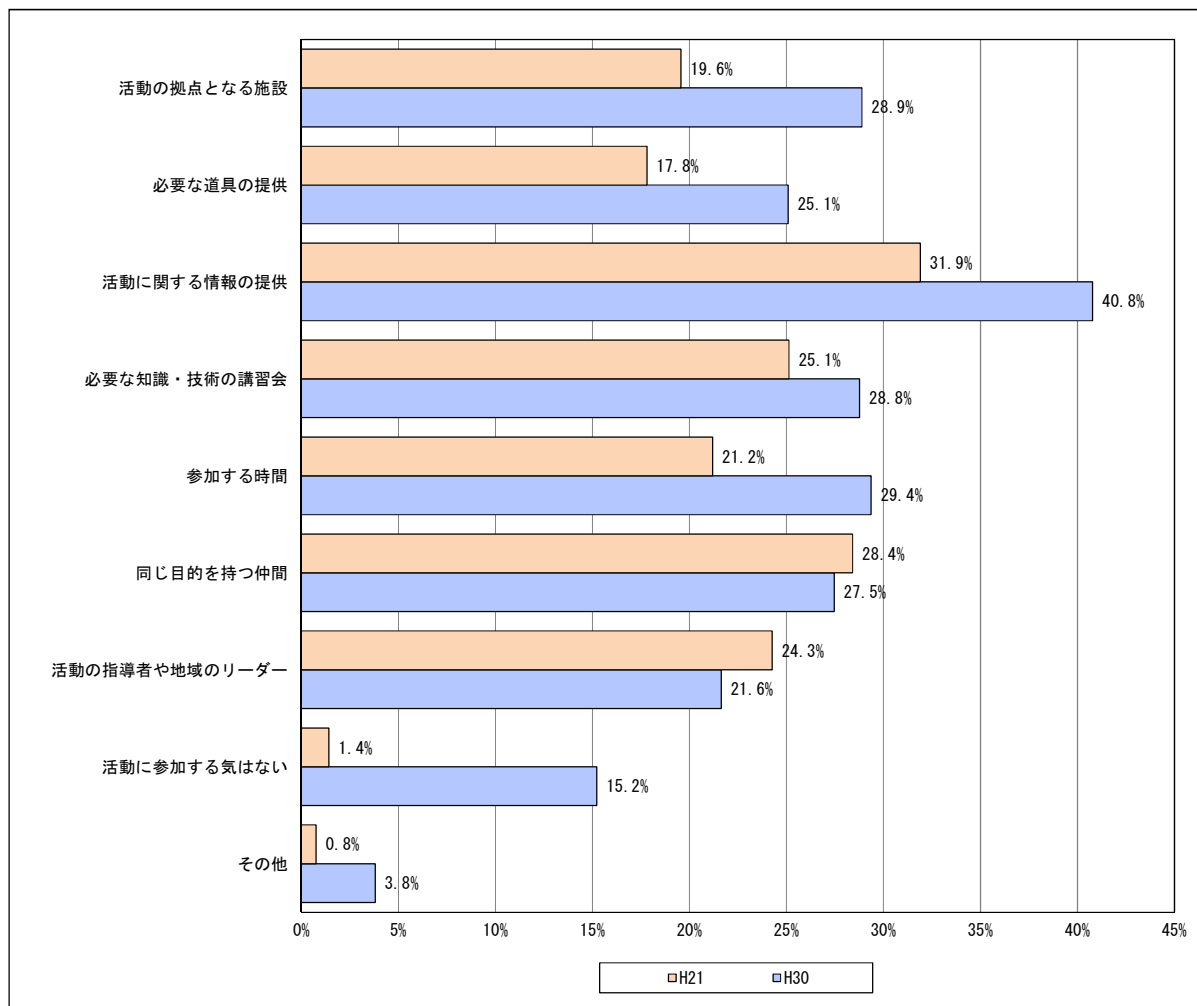
設問 19：緑を守り、増やしていくための活動に参加するために特に必要だと思うことについて、次の中から当てはまる番号全てに○を付けてください。

「活動に対する情報の提供」が 40.8%で最も高く、次いで「参加する時間」が 29.4%、「活動の拠点となる施設」が 28.9%となっています。



■ 緑を増やす活動に必要なもの

過年度と比較すると、「活動に参加する気はない」が 13.8 ポイント増加で最も伸びが大きく、次いで「活動の拠点となる施設」が 9.3 ポイント、「活動に関する情報の提供」が 8.9 ポイント増加しています。一方、「活動の指導者や地域のリーダー」が 2.6 ポイント減少しています。

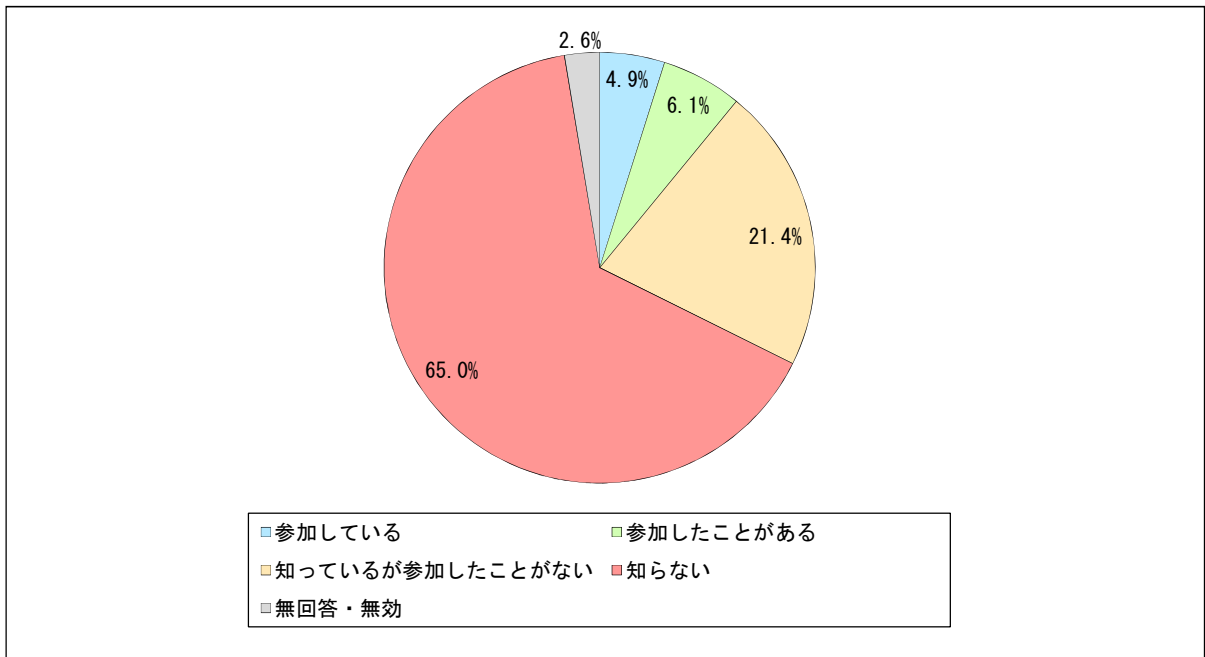


■ 緑を増やす活動に必要なもの（過年度比較）

(5) 愛護会について

設問 20：現在、市内の公園・緑地の約半数について、地域住民で構成された愛護会に清掃活動などを行っていただいていますか、愛護会を知っていますか、または参加されたことがありますか。次の中から1つを選んで番号に○を付けてください。

「知らない」が 65.0%で最も高く、次いで「知っているが参加したことがない」が 21.4%、「参加したことがある」が 6.1%となっています。

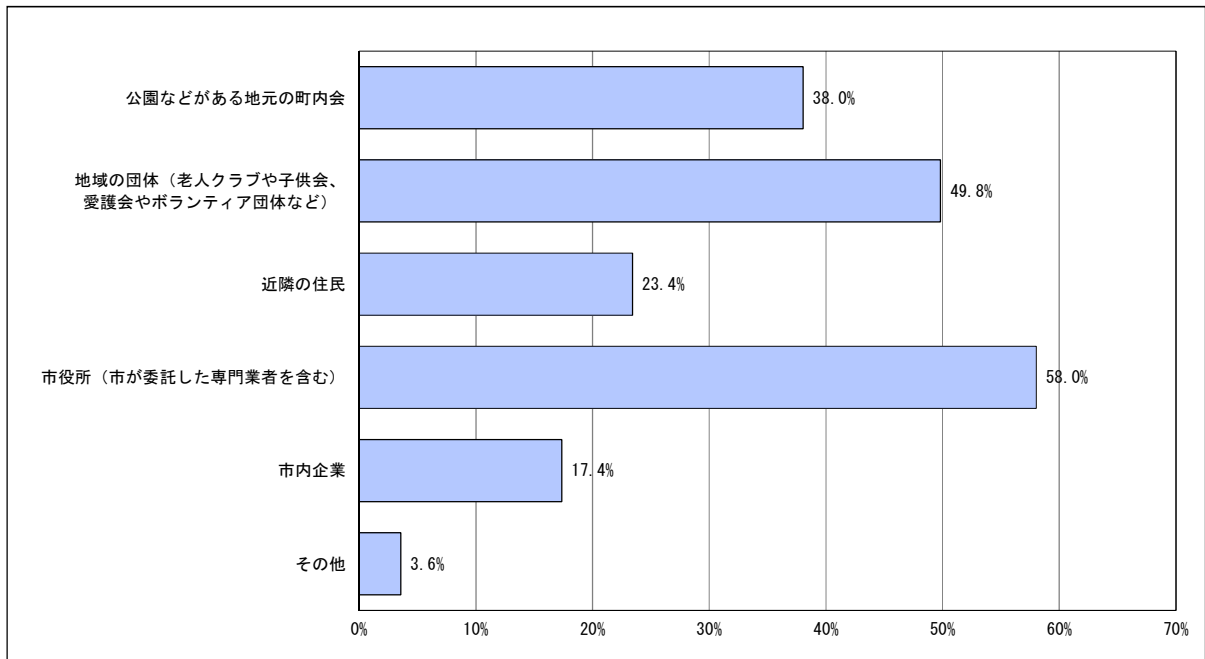


■ 愛護会について

(6) 維持管理を中心となって実施する主体

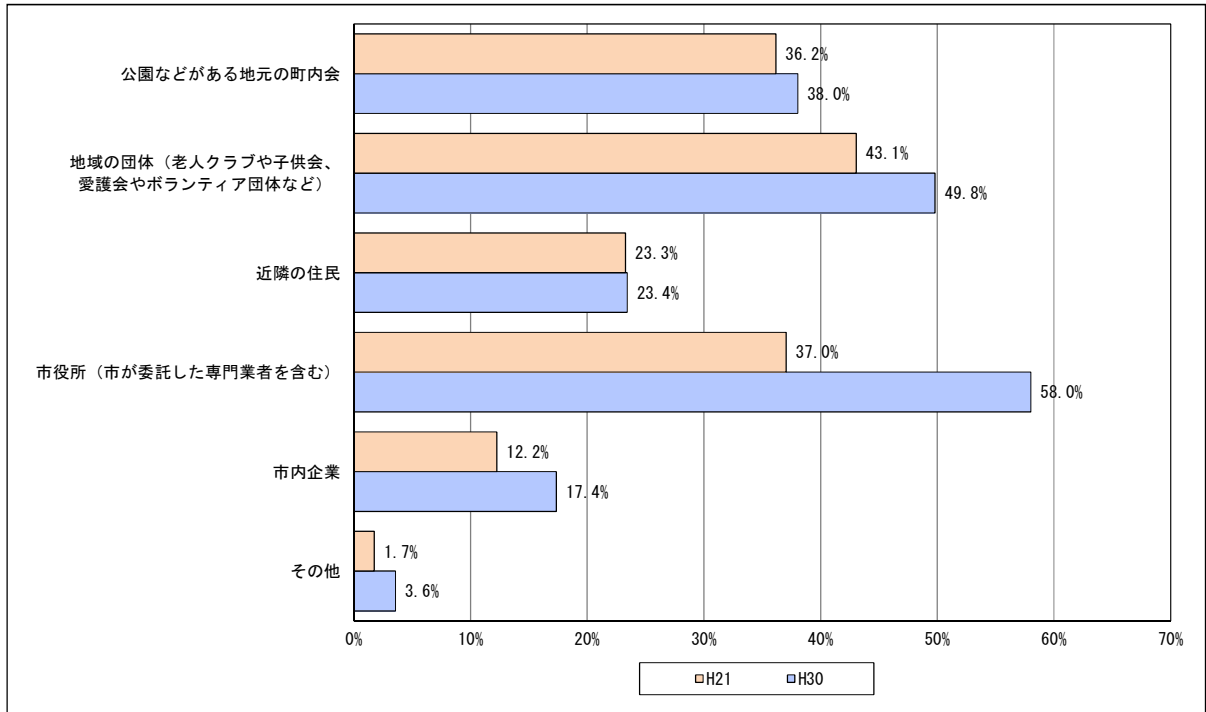
設問 21：身近な公園・緑地などの維持管理（除草や清掃活動など）を中心となって行う人（団体）としてふさわしいと思うものはどれですか。次の中から当てはまる番号全てに○を付けてください。

「市役所（市が委託した専門業者を含む）」が 58.0%で最も高く、次いで「地域の団体（老人クラブや子供会、愛護会やボランティア団体など）」が 49.8%、「公園などがある地元の町内会」が 38.0%となっています。



■維持管理の主体

過年度と比較すると、「市役所（市が委託した専門業者を含む）」が21.0ポイント増加で最も伸びが大きく、次いで「地域の団体（老人クラブや子供会、愛護会やボランティア団体など）」が6.7ポイント、「市内企業」が5.2ポイント増加しています。



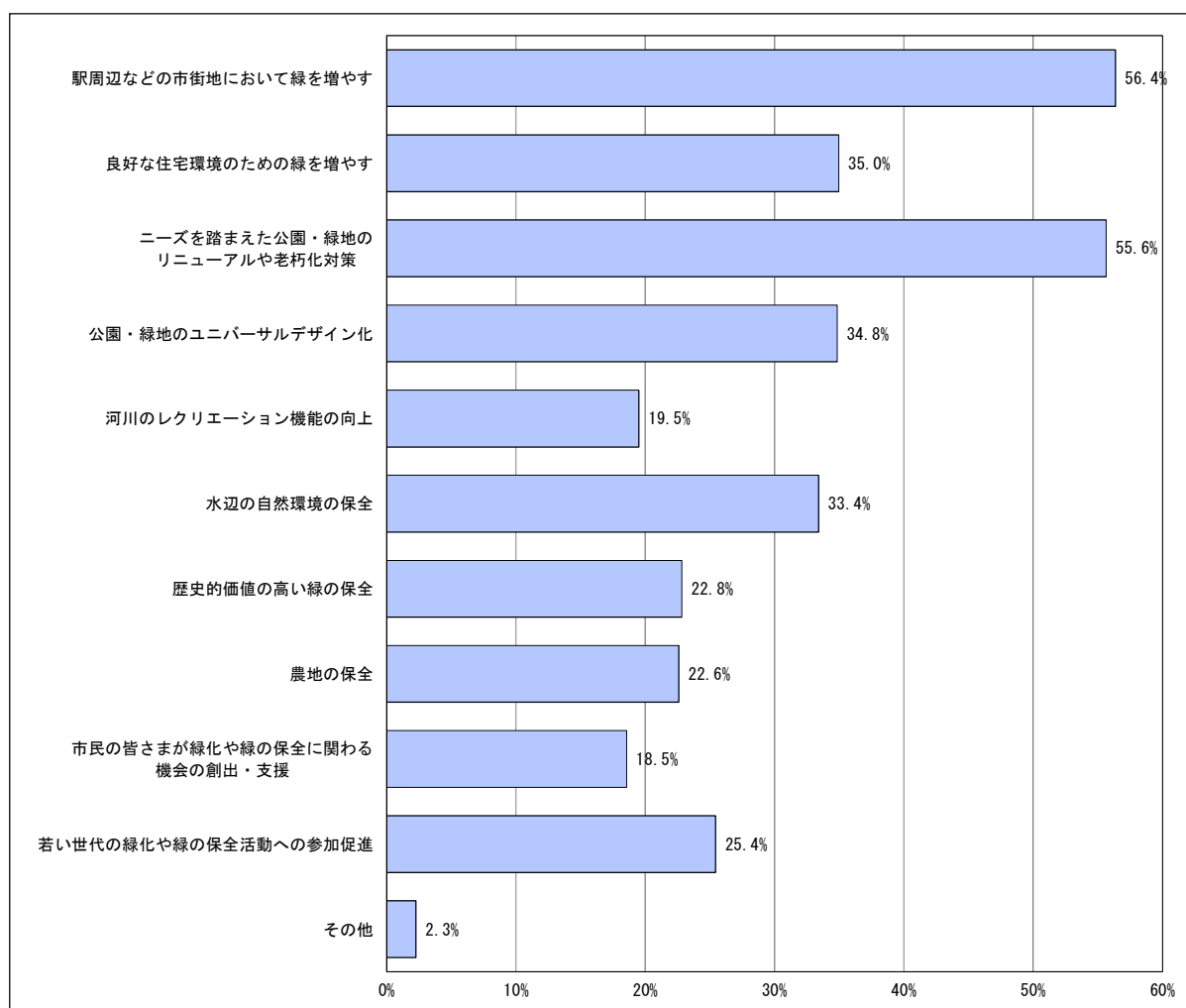
■維持管理の主体（過年度比較）

2-6 知立市の緑の方針について

(1) 重要だと思う緑の方針について

設問 22：「緑」には、「環境保全」「レクリエーション」「防災」「景観形成」といった多様な役割がありますが、今後、知立市で特に重要だと思う内容について、次の中から当てはまる番号全てに○を付けてください。

「駅周辺などの市街地において緑を増やす」が 56.4%で最も高く、次いで「ニーズを踏まえた公園・緑地のリニューアルや老朽化対策」が 55.6%、「良好な住宅環境のための緑を増やす」が 35.0%となっています。



■知立市の緑の方針について